

教 育 委 員 会 議 事 録

(令和2年度 教育委員会 第1回臨時会)

| | |
|---|----------------------------|
| 開会 令和2年7月20日(月) 午後2時00分 場所 西宮市役所東館8階 大ホール | 閉会 令和2年7月20日(月) 午後5時06分 |
|---|----------------------------|

| | | | | |
|-----------|---|--------|------------|--------|
| 出席委員 | 教育長 重松 司郎 委員 側垣 一也 委員 長岡 雅美 委員 藤原 唯人 委員 山本 幸夫 | 欠席委員 | | |
| 会議に出席した職員 | 職 | 氏 名 | 職 | 氏 名 |
| | 教育次長 | 坂田 和隆 | 学校教育課長 | 木戸 みどり |
| | 教育次長 | 佐々木 理 | 教育企画課係長 | 瀧井 佑介 |
| | 教育総括室長 | 薩美 征夫 | 教育総務課係長 | 青木 威 |
| | 参与(人事担当) | 八橋 徹 | 西宮市立西宮高等学校 | |
| | 参与(西宮浜担当) | 清水 孝茂 | 教科用図書選定委員会 | 野川 誠 |
| | 社会教育部長 | 上田 幹 | 委員長 | |
| | 学事・学校改革部長 | 津田 哲司 | 西宮市立西宮東高等学 | |
| | 学校教育部長 | 漁 修生 | 校教科用図書選定委員 | 白井 秀和 |
| | 教育総務課長 | 竹村 一貴 | 会委員長 | |
| | 教育企画課長 | 吉田 巖一郎 | 西宮市立西宮養護学校 | |
| | | | 教科用図書選定委員会 | 坂口 紳一郎 |
| | | | 委員長 | |
| | | | 義務教育諸学校教科用 | |
| | | | 図書選定委員会委員長 | 垣内 浩 |
| 署 名 | 教育長 | | 委員 | |

付 議 案 件

<審議案件>

議案第24号 令和3年度使用西宮市立高等学校及び西宮養護学校教科用図書採択の件
(学校教育課)

議案第25号 令和3年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件
(学校教育課)

以 上

傍 聴

16名

| | |
|--------|--|
| 重松教育長 | <p>ただいまより、令和2年度 第1回 教育委員会臨時会を開催いたします。議事録署名委員には、山本委員を指名します。よろしくお願ひします。</p> <p>はじめに、4月の定例会について、議事録の承認を行います。</p> <p>議事録は既にお手元に送付し、確認していただいておりますが、簡単な字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| 重松教育長 | <p>異議なしと認めます。それでは、承認します。</p> <p>なお、簡単な字句の訂正があれば、事務局にお伝えください。</p> <p>ここで、各委員に確認します。</p> <p>傍聴希望者は、現在16名おられます。会議は公開が原則であり、本日の案件は非公開とする理由がないため、全て公開してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| 重松教育長 | <p>異議なしと認め、全て公開とします。</p> <p>それでは、事件表の順に審議を進めていきたいと思ひます。</p> <p>では、議案第24号「令和3年度使用西宮市立高等学校及び西宮養護学校教科用図書採択の件」を議題とします。</p> <p>学校教育課長、お願ひします。</p> |
| 学校教育課長 | <p>では、はじめに教科書展示会について、報告をさせていただきます。</p> <p>6月12日から6月25日までの間の法定期間14日間、総合教育センターにて開催いたしました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮いたしまして、法定期間内は総合教育センターのみでの開催でございました。</p> <p>14日間で151名の来会がありました。</p> <p>アンケートの意見は107件ありました。事務局で集約したものを参考資料として添付させていただきます。</p> <p>教科書につきましては、数年前、教科書発行者が検定中の教科書を教員らに見せて謝礼を渡したり自社の教科書を採択した高校に無償で教材を提供したりするなど、不適切な事案が発覚し大きな問題となりました。</p> <p>事務局としましては、選定委員会や調査員会にて具体的事例を挙げて注意喚起す</p> |

| | |
|--------------------------------|--|
| <p>重松教育長</p> | <p>ることを始め、文部科学省による通知、「教科書採択における公正確保の徹底等について」を4月6日付で全ての市立学校に送付すると共に、4月と5月の校長会議にて各校での周知及び指導を依頼し、市内の全教職員に公正確保の徹底を図ってまいりました。</p> <p>西宮高校、西宮東高校、西宮養護学校の教科書につきましては、各校で設置された選定委員会において教科書を選定いたしました。この後、各選定委員会委員長より採択申請いたします。</p> <p>それでは、西宮高校選定委員会より、ご説明を願います。</p> <p>野川選定委員長、よろしく申し上げます。</p> |
| <p>西宮市立西宮高等学校教科用図書選定委員会委員長</p> | <p>選定委員会を代表しまして、令和3年度に使用いたします教科用図書採択について申請いたします。</p> <p>最初に、申請に至るまでの経緯についてご報告をいたします。</p> <p>5月19日の教育委員会定例会において議決されました、「令和3年度使用西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針」に基づきまして、選定委員会を設置いたしまして、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針の一つは、本校の教育課程に照らし、指導上適切なものであること。二つ目に、教材の分量、配分、設問等が学習に効果的であること。三つ目としまして、本校生徒の学習能力に適応したものであること。と定めております。</p> <p>この基準にのっとりまして、各教科を中心に専門的な見地から調査研究を進めてまいりました。</p> <p>本校における教育活動を取り巻く状況は、平成21年度入学者から複数志願選抜が導入されまして、平成27年度入学者から学区の拡大へと変化してまいりました。このことを踏まえまして、本校生徒の特徴を見極めながら、慎重に調査研究を進めてまいりました。</p> <p>具体的には、本校に入学してまいります生徒の多くは、学習意欲が高く、国公立大学への進学を第1希望としております。ほぼ全員が「大学入学共通テスト」（旧名称の大学入試センター試験）を受験する予定でもあります。生徒、保護者共に学校に対する期待度も高く、先生方もそれに応えられるように努力をしております。教科書の選定につきましては、基礎から応用まで、自学・自習が可能なもの。併せまして高いレベルの発展事項も掲載されていること。「主体的、対話的で深い学び」へとつなげることができる授業、そのための教材が充実していると考えら</p> |

れる教科書を中心に検討してまいりました。

その上で、各教科の代表、管理職、保護者代表、学識者から構成いたします選定委員会を6月17日に開催し、採択申請する教科書を決定いたしました。

その結果は、採択申請書の5ページから18ページに記載をしております。

本校は、普通科とグローバル・サイエンス科がありますので、2種類の申請書を用意いたしました。

まず普通科についての申請書は、5ページから8ページまでとなります。

では、7ページから8ページに申請する教科書を全て記載しておりますので、7ページから8ページをご覧ください。

一番右の【選定理由】この欄が空欄の教科書につきましては、今年度使用しているものと同じ教科書を申請しております。【選定理由】の欄に文章表記のある教科書は、今年度使用しているものから教科書を変更したものであるということになります。変更した教科書だけを見やすく整理したものが、9ページの「選定理由報告書」となります。

なお、参考資料といたしまして、10ページから12ページに【前年度対比資料】も添付しております。

では、10ページをご覧ください。

右側が今年度使用している教科書、左側が来年度（令和3年度）に使用したいと考えている教科書になります。グレーの塗りつぶしになっているものは、今年度に当該生徒が既に使用している教科書を、進級しても引き続き使用する予定のものとなります。

今回の採択の対象外となります。

黒の塗りつぶしに白字で記載されているものは、今年度から選定する教科書を変更したものととなります。

それ以外は、今年度と同じ教科書を選定しているものととなります。

では、9ページをご覧ください。

9ページのNo.12の外国語1年、コミュニケーション英語Iでは、題材が興味深く、生徒の知的好奇心をかきたてる内容で、語彙や文法、構文の習得や内容理解だけでなく、リスニング力や表現力もつけられるようになっていること。補助教材データが充実している点などから、三省堂の教科書を選びました。

No.27の化学につきましては、問題配置、練習問題の難易度が生徒にとって適切であるということ。また、発展的内容が、今回採択した出版者のものが最も豊富で、関心が高い理系進学者に適切である点などから、東京書籍の教科書を選びま

| | |
|--------------------------|--|
| | <p>した。</p> <p>No. 30のコミュニケーション英語Ⅱの啓林館の教科書は、今年度2年生が使用している教科書からの変更となりますが、今年度1年生がコミュニケーション英語Ⅰで使用している教科書からは同シリーズの継続となります。学習の継続性を図ることと、語彙や文法の習得だけでなく、リスニング力、表現力もつけられるように構成されている点などから、選定いたしました。</p> <p>No. 31の英語表現Ⅱの啓林館の教科書も、今年度2年生が使用している教科書からは変更となりますが、当該の生徒にとっては、1年次から同じシリーズの継続となります。学習の継続性を図るという意味で、各レッスンの導入ページにおきましても、会話を通して文法、表現、学習ができる点などから、選定をしております。</p> <p>No. 44にあります、コミュニケーション英語Ⅲの桐原書店の教科書は、語彙や文法、構文の習得、内容理解だけでなく、リスニング力、表現力をつけられるような構成となっておりますし、英語4技能の習得に適した教材であるという点から選定しております。</p> <p>続きまして、グローバル・サイエンス科の申請書及び参考資料は、13ページから18ページになっております。</p> <p>普通科の申請書と同様の形式で記載をしております。</p> <p>変更しました教科書だけを見やすく整理したものが、15ページの「選定理由報告書」となります。</p> <p>15ページのNo. 15、No. 27、No. 28、No. 31、に記載しておりますように変更した教科書につきましては、普通科でも変更した教科書と同じものとなっております。選定理由につきましては説明を省略させていただきます。</p> <p>報告は以上となります。ご審議をよろしくお願いいたします。</p> |
| 重松教育長 | <p>続いて、西宮東高校選定委員会よりご説明願います。</p> <p>白井選定委員会委員長、お願いします。</p> |
| 西宮市立西宮東高等学校教科用図書選定委員会委員長 | <p>選定委員会を代表いたしまして、令和3年度に使用する教科用図書採択について申請いたします。</p> <p>最初に申請に至るまでの経緯について報告いたします。</p> <p>5月19日の教育委員会定例会におきまして、議決されました、「令和3年度使用西宮市立学校教科用図書の採択に関する基本方針」に基づき、選定委員会を設置</p> |

| | |
|-------------------------|---|
| | <p>いたしまして、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針の1. 指導要領の内容に従い、本校における生徒の進路、適正、能力等を十分考慮し、教育課程実施上適切である。2. 各教材ごとに教科書記述内容を研究し、さらに地域社会の要望など客観的資料を含め、総合的見地から選定する。3. 各教科から推薦のあった教科書を本校教科書選定委員会において、再検討を加えて公正を期すると決めました。</p> <p>この基準にのっとりまして、各教科を中心に専門的な見地から調査研究を進めてまいりました。</p> <p>学区の拡大等により、ここ数年入学してくる生徒も変化しているため、注意深く調査研究を進めてきました。</p> <p>具体的には、本校に入学して来る生徒の多くは、基礎的な学力を身に付けている生徒が多くいますので、基本的な内容を応用することや、より深い学びへとつなげるための教材が豊富で充実した教科書を中心に検討を重ねてきました。</p> <p>その上で、各教科の代表、管理職、保護者代表、学識者から構成する選定委員会を6月17日に開催し、採択申請する教科書を決定いたしました。</p> <p>その結果は、採択申請書の19ページから26ページに記載しております。</p> <p>申請書の見方につきましては、西宮高校と同様であります。</p> <p>なお、参考資料といたしまして、23ページから24ページに前年度対比資料も添付しております。21ページから22ページには、申請する教科書を全て記載しております。昨年度からの変更となった教科書はございません。</p> <p>報告は以上です。ご審議をよろしくお願いいたします。</p> |
| 重松教育長 | <p>続いて、西宮養護学校選定委員会より説明をお願いします。</p> <p>坂口選定委員会委員長、よろしくお願いいたします。</p> |
| 西宮市立西宮養護学校教科用図書選定委員会委員長 | <p>選定委員会を代表して、令和3年度に使用する教科用図書採択について申請いたします。</p> <p>最初に、申請に至るまでの経緯について報告いたします。</p> <p>5月19日の教育委員会定例会において議決された、「令和3年度使用西宮市立学校教科用図書採択に関する基本方針」に基づき、選定委員会を設置し、選定作業を進めてまいりました。</p> <p>まず、選定方針を1. 西宮市教育委員会の採択に関する基本方針に従い、最も適切な教科書を選ぶ。2. 小・中・高の一貫性や教材の系統性を十分に考慮して適</p> |

切なものを選ぶ。3. 各教科の主たる教材として、目標達成に適したものを選ぶ。と決めました。

この基準にのっとり、各教科の教科書について、専門的な見地から調査研究を進めました。

特別支援学校の場合、特に、個々の児童生徒によって障害の状況等も様々ですので、一人ひとりの教育的ニーズについて確認しながら、調査研究を進めました。現在本校では、肢体不自由のみという単一障害の児童生徒はおりません。全員が知的、視覚、聴覚、病弱等の障害を併せ有する重度重複障害の児童生徒です。そうした実態を踏まえ、自立活動領域を基盤にした教科学習の進化を推進するという本校研究目標も十分意識しました。

その上で、各教科、各学年の代表、管理職、保護者代表、学識者から構成する選定委員会を6月22日に開催し、採択申請する教科書を決定いたしました。

27ページ以降に小学部、中学部、高等部の順で記載しています。

29ページから32ページが小学部についての採択申請書となります。

小学部では、国語、算数、生活について一般図書を選んでいきます。

29ページにありますように、それ以外の教科では、小学校、義務教育学校前期課程で採択された検定教科書を使用いたします。

西宮養護学校では、授業形態として、学年や学年団の児童生徒全員で集団学習をする授業と、発達課題別に学習する授業を併用しています。集団学習の場合でも、担当教員が付きながら、個々の児童生徒の状況に応じた指導をしています。

今回選定したこれら図書は、集団学習の形態の授業での使用を想定しています。

また、「生活」の教科書については、児童1人につき、小学部1年では1冊、小学部2・3年では2冊まで、小学4から6年では3冊まで採用することができます。しかしながら、今年度の児童についても全学年1冊とすることにいたしました。

なお、小学部1年につきましては、来年度入学してくる児童の詳細が現段階では分からないため、例年、検定教科書を採用しており、来年度も同様の方針であるため、一般図書としては1冊も報告に挙げておりません。

また、32ページに参考資料を挙げている図書は、西宮版の令和2年度使用一般図書一覧及び兵庫県教育委員会の調査研究資料のどちらにも掲載されていない図書を記載しております。

次に、33ページをご覧ください。

中学部についての採択申請書となります。

中学部では、国語、社会、理科について一般図書を選んでおります。各学年全員

が同じ図書を選んでいきます。数学については、文部科学省による著作本、いわゆる星本を使用します。1年生について、3名が「さんすう☆」、2年生は、6名が「さんすう☆☆（1）（2）」を使用し、1名が「さんすう☆☆☆」を継続使用します。また、3年生は6名が「さんすう☆☆（1）（2）」を継続使用し、1名が「数学☆☆☆☆」を使用します。

33ページにありますように、それ以外の教科では、中学校、義務教育学校後期課程で採択された検定教科書を使用する予定です。

先ほどの小学部と同じになりますが、35ページには、西宮版の令和2年度使用一般図書一覧及び兵庫県教育委員会の調査研究資料のどちらにも記載されていない図書を載せております。

最後に、36ページをご覧ください。

高等部についての採択申請書となります。

36ページは、今回申請している検定教科書についての申請となります。

No. 3の道徳の学研の教科書は、写真や絵、漫画等が多く使われており、生徒にとって内容を理解しやすい点などから選びました。また、中学部において使用している1年生の道徳の検定教科書との継続性もあります。

どの教科もそうですが、発達課題とは別にそれぞれの生活年齢があります。特に高等部においては、自立を目指して行くべき時期であり、道徳的意味や価値について学習を進めていくのにふさわしいと判断いたしました。

No. 1、No. 2に記載の高等部1年の保健体育と音楽Iの教科書は、前年度と同じ教科書となります。

37ページをご覧ください。37ページには、一般図書について選定したものを記載しています。

なお、参考資料として、38ページに、今回選定した一般図書がどのような本であるかについて記載しております。

読み聞かせの教科書では、擬態語や擬音語、繰り返しや韻を踏むなど、日本語表現を体感する、そういう活動が中心となります。

高等部1年で使用する教科書は、発達年齢にも生活年齢にも即したものといえます。読んでリズムを楽しむと同時に青年期特有の心理面にアプローチすることも期待しています。

実際の指導としては、これら一般図書と自主教材を組み合わせた学習となります。報告は以上です。ご審議、よろしくお願いたします。

| | |
|----------------------|--|
| 重松教育長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p> <p>本件にご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、なければ採決に入ります。</p> <p>議案第24号「令和3年度使用西宮市立高等学校及び西宮養護学校教科用図書採択の件」については、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| 重松教育長 | <p>異議なしと認めます。よって本案は可決されました。</p> <p>続きまして、議案第25号「令和3年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件」を議題といたします。</p> <p>それでは、選定委員会より説明をお願いいたします。</p> <p>垣内選定委員会委員長、よろしくお願いします。</p> |
| 義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長 | <p>はじめに経過報告をいたします。</p> <p>5月19日の教育委員会定例会において、「令和3年度使用西宮市立学校教科用図書採択に関する基本方針」を決定いただきました後、5月21日に第1回選定委員会を開催いたしました。その中で「令和3年度使用義務教育諸学校教科用図書選定委員会報告方針」を決定すると共に、本年度は中学校、義務教育学校後期課程教科用図書の採択替えに当たるため、調査員をおいて調査研究を行うことを確認いたしました。</p> <p>また、特別支援学級用の一般図書についても調査員会を設置し、調査研究を行うことを確認いたしました。</p> <p>調査員は、義務教育諸学校教科用図書選定委員会運営要領に従い、社会科16名、国語科・数学科・理科・外国語科10名、その他の教科7名、特別支援学級用の一般図書の調査員5名で構成いたしました。</p> <p>なお、調査員のうち教頭は、学校教育課長が推薦、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭は各学校から校長が推薦し、選定委員会が委嘱いたしました。</p> <p>5月27日に、第1回調査員会を開催し、採択方針と調査研究についての説明、教科書採択にかかる公正確保等について確認すると共に、調査員会ごとに教頭を含む代表2名を選出いたしました。</p> |

その後、調査員による調査研究を行い、7月1日に第2回選定委員会を、7月2日に第3回選定委員会を開催いたしました。

各調査員代表から調査結果の報告及び聴取を行い、報告書の加筆修正等を行い、本日の報告書を作成いたしました。

なお、公正確保につきましては、調査研究が静ひつな環境の中で公正公平な立場で行われたことを併せてご報告いたします。

次に、報告書の概要についてご報告いたします。

報告書には「中学校、義務教育学校後期課程教科用図書の調査報告」「特別支援学級用一般図書の調査報告」の2種類の調査報告がございます。

「中学校、義務教育学校後期課程教科用図書の調査報告」につきましては、報告書の3ページから24ページに記載しています。

報告方針の中で制定した特別の教科道徳以外の教科については、7観点について。特別の教科道徳については、8観点について、発行者ごとに特徴を文章表記しています。観点の一つであるカラーユニバーサルデザインにつきましては、調査員会の中で色弱の方の見え方を模擬体験する眼鏡などを利用し、調査の視点としてしっかり捉えるようにいたしました。

調査結果といたしましては、報告書にも記載しております。各教科どの発行者でも配慮がなされており、教科書の裏表紙や教科書編集趣意書にカラーユニバーサルデザインの配慮について、全ての発行者で記載がありました。

「特別支援学級用一般図書の調査報告」につきましては、報告書の27から34ページに記載しております。後ほど報告させていただきます。

以上です。ご審議よろしく申し上げます。

重松教育長

ありがとうございました。

それでは、ここで議案第25号の議事の進行について確認したいと思います。

まず、採択の方法ですが、各教科において出版社が6社以上の場合は、それぞれ2社。それから5社以下の場合については、1社を推薦いただくということをお願いしたいと思います。その際、その教科書を選んだ理由について述べていただきたいと思います。

順番としましては、先に意見を述べていただいて、それで教科書をどれにするかというのを決定していただけたらと思います。

次に採択の方法ですが、教育委員には現在5名いますので、推薦された教科書が5分の3以上あれば、それを採択といたします。

| | |
|------------------------------|--|
| 義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長 | <p>ただし、教科書の採択は、5人ともばらばらの場合も考えられますので、そうなった場合は、もう一度話し合いということできたいと思っております。それから5分の2がもし一つしかなかった場合は、それで決定してもいいのですが、一応話し合いをすることで、よろしく願います。</p> <p>またさらに、5分の3以上が2社出た場合は、最終的にはその中からもう一回話し合って1社に決定するという方法をとりたいと思います。</p> <p>ただし、5分の3と5分の4が出た場合は、5分の4を採択するという形で採択していきたいと思っておりますので、よろしく願います。</p> <p>また、採択の手順といたしましては、中学校、義務教育学後期課程教科用図書採択につきましては、教科ごとに審議を行い採択する教科書を議決していくことといたします。</p> <p>以上、2点についてよろしいでしょうか。</p> <p>それでは教科ごとに議事を進行していきたいと思っております。</p> <p>まず、国語の教科用図書の採択についての審議から始めます。</p> <p>選定委員会よりの説明をお願いします。</p> <p>最初に垣内選定委員会委員長、よろしく願います。</p> <p>失礼します。国語科の報告をさせていただきます。</p> <p>国語科におきましては、主体的・対話的で深い学びを実現するための言語活動を行う工夫などを中心に協議いたしました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、目標、問いかけから言葉の力、振り返りという一貫した学習の流れが構成され、振り返りでは記述式で考えをまとめる活動に取り組むことができます。</p> <p>三省堂は、3年間を通して9種類の思考の方法をバランスよく配置し、各教材の学習活動に沿って活用できる工夫がされています。「学びを広げる」では、他者との交流や今後の学習、また読書へとつなげる工夫があります。</p> <p>教育出版は、「学びナビ」を教材の前に持ってくることで、何を学ぶのか意識を持たせる効果が期待できます。SDGsに深く関係したキーワードを明示するなど、多様な話題が掲載され、課題解決的な学習につながる工夫がされています。</p> <p>光村図書は、書くことでは、思考する・判断する・表現するために、「集める・整理する・表現する」の三つの手だて、また読むことでも、「捉える・読み深める・考えを持つ」の三つの手だてが示され、活用方法が分かりやすくなっています。</p> <p>以上です。</p> |
|------------------------------|--|

| | |
|--------|--|
| 重松教育長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p> <p>ここについて、ご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>ありませんか。</p> <p>では、ほかに質疑がなければ、各委員から採択の結果を報告させていただきます。</p> <p>まず、山本委員からお願いします。</p> |
| 山本教育委員 | <p>それでは、話をさせていただきます。今回、教科書の採択ということで、特に学習コンテンツということが、大切になってくると考えています。これは、国語に限りませんが、各教科でかなり大切になってくると考えています。</p> <p>それから、単元の構成や、授業構成について説明がありましたが、これも大切なことだろうと思っています。</p> <p>国語に関しましては、特に今回学習指導要領で情報の扱い方というのが入ってきていますが、これに関わって単元を設定している会社と、あえて単元を設定していないで、他の単元に織り込んでいるところなどがあります。ここでは、論説国語などと関係して比較や分類、関係付けなどをどう扱うかということも大切だということもあります。そういう観点、それから学習コンテンツという観点でいくと、光村と考えています。</p> <p>特に、思考のレッスンや、情報整理のレッスン、このあたりが大変に論説国語につながるような書きぶりができているという気がしています。それから思考の地図というのも、面白いと思っています。</p> <p>各会社、工夫されているのですが、特にそのあたりを私は感じました。</p> <p>それから学習コンテンツで、光村図書のもは文章と共に音声が出ています。加えて、動画も大変よくできていると感じました。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>では、藤原委員、お願いします。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>国語に関しましては、私は結論を先に申し上げますと、光村図書がふさわしいかなと考えました。</p> <p>全体として、読み物があってそれに対する問題提起などという構成になっております。その問題提起において、余り誘導し過ぎない。といいますのは、授業をさ</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>れる先生方の裁量の余地を残すということ。後、生徒たちの議論の余地を残すというところが、新しい指導要領の趣旨に合致するかなと考え、余り補助線を引き過ぎない、誘導し過ぎない問題提起という視点で見えてまいりました。</p> <p>また、中学生というのは、とにかく読書量、文章を読む量を増やす。量を増やすという時代だという考えを持っておりますので、導入においていちいちいろんなことを述べるよりは、端的に教材に入った方が、教材としてはいいのかなと考えます。</p> <p>いろいろ工夫されて導入等でいろいろ分かれたり、漫画を描かれたりというのもあったりするのですが、私個人としては、そういったものを付けるよりは、本題に速やかに入った方がいいのかなと考えました。</p> <p>そうした観点から見たときに、光村図書と三省堂の2社になりまして、この2社で大変迷ったのですが、一方で推薦図書のコーナーがそれぞれ設けられ、10冊から20冊程度紹介されております。そこでジャンル分けの仕方において、光村図書の方が分かりやすいとか、具体的なジャンル分けがなされていると考えました。項目を並べるとそう思わないのですが、実際のページを並べて見た際に、そのジャンル分け、ジャンルとその中の図書というのがすごく結び付いているので、興味を持った本というのを生徒たちが見つけやすいのかなと考えました。その結果、光村を推薦させていただきます。</p> |
| 重松教育長 | ありがとうございます。次、長岡委員、お願いします。 |
| 長岡教育委員 | <p>よろしくお願いします。私は、三省堂さんを推薦させていただきます。</p> <p>理由は、見通しを持って学習ができるような教材の配置になっているという点が一つ。それから藤原委員もおっしゃいましたが、ご担当される先生の裁量の余地を残しているということで、指導計画の中では先生方に工夫をしていただかなければいけない点がありますけれども、そういう点が良いと。もう1点は、新学習指導要領の中で追加された情報の扱い方の部分が非常に充実していると。この3点から三省堂さんを推薦します。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | ありがとうございます。側垣委員、お願いします。 |
| 側垣教育委員 | 私も結論から先に言いますと光村を推薦したいと思います。 |

| | |
|-------|---|
| 重松教育長 | <p>その理由は、4社も全てそれなりに丁寧に作られています。ただ、光村の方は、先ほど最初に山本委員が言われましたように、学習の流れが、生徒自身が考えて、自分の力で考えられるような組み立てで、すっきりしていると思います。それと、これもまた同意見なのですが、「～はどうだろうか」みたいな、誘導をするような組み立てではないので、自分でQRコードを見ているんなコンテンツを探して、それから学ぶという活用の仕方ができ、自分の力で考えることができる。それからもう一つは、やはり読書活動について今、中学生は非常に活字離れというところがあるのですが、そういうことを自分の力でやってみようかという興味を持たせるような展開をされていると考えましたので、光村を推薦したいと思います。</p> <p>ありがとうございます。では、私の方から。</p> <p>現在の子供たちの状態や実態を把握すると、言語文化が十分に根付いていない傾向があるのではないかと思います。そのために語彙力の向上と共に語彙をしっかりと付けて自分の考え方をしっかりと述べる必要があるのではないかと考えています。合わせて自分の考えをしっかりと持つためには、根拠となる情報をきちんと読み取り、それが正しい情報なのか、文面を読み解くことによって、きちんと理解し判断できるということが非常に大切ではないかというように思っています。そのためには情報を的確に読み取りそれをきちんと話し合いができる、そういう手だてが取られているということが、教科書の中に工夫としてなければならないのではないかと考えています。その部分をきちんと示しているかという観点を一つ見させていただきました。それから情報としてのメディアを意識した取り組みとなっているかということも比較させていただきました。合わせて、読書については、どの教科書もその重要性はきちんと系統立てて指導してあり、支援する構成になっていますが、それについてもそれぞれの特徴があるので、どれがいいかということで見せていただきました。</p> <p>以上の観点から私も光村図書を推薦させていただきます。</p> <p>私の方からは以上です。</p> <p>以上のことから、国語については光村が4人、三省堂が1人ということですので、光村図書を採択したいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> |
| 重松教育長 | では、それで決定させていただきます。 |

| | |
|---------------------------------------|---|
| <p>義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長</p> | <p>次に、書写の教科用図書の採択についての審議を始めます。 選定委員会の説明をお願いいたします。 垣内選定委員会委員長、よろしくお願いします。</p> <p>失礼します。書写の報告をさせていただきます。 各発行者の特徴ですが、東京書籍は、AB判でほかより大きくなっています。 基本の点画では、イラストや写真で筆の向きを分かりやすく示しています。文字文化コラムが掲載され、伝統や文化に触れることができます。 三省堂は、資料編「日常の書式」では、送り状の宛名やのし袋の書き方など学校生活を含めた生活場面と書体について、考えさせる工夫があります。生徒がページ全面に書き込みができるページが多く設けられています。 教育出版は、教科書関連マークがあり、他教科に加えて防災教育、キャリア教育などとのつながりが実感できるようになっています。ポスターセッションや、学校行事の案内状など、活動につなげる工夫もされています。 光村図書は、ページ数が多く、資料が豊富に掲載されています。運筆動画に加えて、筆記具の持ち方やアルファベットの書き方など、動画も豊富にあります。 以上です。</p> |
| <p>重松教育長</p> | <p>ありがとうございます。 説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。 書写について、ご意見、ご質問はありませんか。 では、ほかに意見がなければ各委員からの採択結果を報告願います。 では、最初に藤原委員、お願いします。</p> |
| <p>藤原教育委員</p> | <p>はい。私としては、書写については、三省堂を推薦させていただきたいと思いません。 どういった観点から考えたかといいますと、現代社会において文字を書くという行為がどんどん減っているということで、逆に自分の文字を書いて人に見せるという局面というのは極めて限られた場面になってきているのかなと考えます。そうしたときに、そうした限られた場面において、いかに相手に伝えやすい文字を書くのかという実践的なことの観点からまとめられているかどうかという視点に達しました。そうしたときに、各社さんともそこは非常に工夫を凝らしておられますけれども、学校生活の中でやるとしたら、例えば告知文、新聞、ポスターな</p> |

| | |
|--------|---|
| 重松教育長 | どを作るというところが大きいのかなと考え、その点、充実している三省堂さんをここでは推薦させていただきます。 以上です。 |
| 重松教育長 | ありがとうございます。そうしたら、長岡委員、お願いします。 |
| 長岡教育委員 | 私も三省堂さんです。理由は学習すべき内容が明確に示されていること。それから、日常生活の中で文字を書く場面というのが今は非常に限られているので、日常生活をイメージしたときに、どういうところで文字を書くのか、どういった字を書いていくのかということが分かりやすく示されているという点から決めました。 |
| 重松教育長 | ありがとうございます。側垣委員。 |
| 側垣教育委員 | 私は、光村図書を推薦したいと思います。 資料が豊富であるということと、それからQRコードで見る動画のコンテンツが、子供にとって分かりやすいのかなと感じました。それから、単元の目標についても明確に示されているので、こちらも非常にすっきりした教科書だなと思いましたので、光村を推薦させていただきます。 |
| 重松教育長 | ありがとうございます。山本委員、お願いします。 |
| 山本教育委員 | 結論から言いますと私は、東京書籍です。 生活の中で使えるものや、実用的なものということで三省堂も、どこも、充実しているのですが、特に三省堂と東京書籍かなと思いました。先ほど言いました学習コンテンツを見てみますと、東京書籍の動画が一番丁寧で分かりやすかったです。 そういう観点から東京書籍ということで考えました。 |
| 重松教育長 | ありがとうございます。では、私の方から。 教材の内容として、楷書、行書、平仮名、それから漢字と仮名、字形の整え方、それから書体、筆順、伝統的な文字文化の項目において、比較検討させていただきました。また、QRコードにつきましては、先ほど言われましたように東京書 |

| | |
|---------------------------------------|---|
| <p>義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長</p> | <p>籍のものがかなり支援についてはよくできているかなと思いましたが、最終的には私も三省堂で決めましたので、これを推薦したいと思います。</p> <p>以上で三省堂が5分の3ですので、三省堂でよろしいですか。</p> <p>はい、ではそれで決定させていただきます。</p> <p>次に、社会の教科用図書についての審議を始めます。</p> <p>まず地理的分野について、選定委員会の説明をお願いいたします。</p> <p>垣内選定委員会委員長、お願いします。</p> <p>失礼します。社会科の報告をさせていただきます。</p> <p>まず、地理的分野の報告をさせていただきます。</p> <p>地理的分野におきましては、三つの資質・能力の育成や、問題解決的な学習するための工夫があると報告がありました。</p> <p>発行者の特徴ですが、東京書籍は、「みんなでチャレンジ」という活動が設定され、グループディスカッション等を促し、他者と関わって学習を深める教材が設けられています。資料活用の技能が習得できる場面が設定されたり、地域の特色に応じた課題が発見できたりする工夫があるのも特徴です。</p> <p>教育出版は、学習課題と対応させた表現のコーナーは、課題などに関わる説明や話し合い活動が設定され、言語活動を充実させることができます。また、興味や関心を広げていくコラム、地理の窓を設けており、さらなる課題発見へとつながる工夫もされています。</p> <p>帝国書院は、「未来に向けて」では、SDGsの取り組みが紹介され、現代的諸課題について考えることができます。全編を通じて人々の営みや努力の姿が伝わるようにされています。日本の諸地域において、写真、図表、分布図、挿絵などが豊富で、カルデラなど理解しづらい単語には図解が添えられていて分かりやすくなっています。</p> <p>日本文教出版は、本文の下にある連携コーナーでは、歴史、公民とのつながりが多数掲載されています。また、社会参画、公共の精神、国際理解、国際貢献などについても各所で取り上げられています。単元の終わりには、アクティビティのコーナーが設けられており、課題について話し合う場面が設定されています。</p> <p>以上です。</p> |
| <p>重松教育長</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>説明は終わりました。</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>これより質疑に入ります。</p> <p>地理的分野について、ご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、各委員からの意見を聞かせていただきます。</p> <p>長岡委員からお願いします。</p> |
| 長岡教育委員 | <p>私は地理的分野のところは、東京書籍さんを推薦させていただきます。</p> <p>理由は、まずQRコードが非常に充実している点です。それからもう1点は、学習が段階的に発展できるように教材が構造化されているという、この2点からです。防災については、いずれの出版社さんも十分取り上げられているので、この点では差はなかったと思うのですが、やはりこの2点、QRコードの充実と学習の段階的な教材の構造化、これが推薦の理由です。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。次、側垣委員、お願いします。</p> |
| 側垣教育委員 | <p>私は4社を見せていただきまして、私も東京書籍を推薦したいと思います。</p> <p>一つは、QRコードの資料が非常に充実しているなということと、使いやすいというマークが付いていること。それから内容につきましては、様々な領土のことであるなど、各社書かれているのですが、読ませていただいて、客観的な記述というか、出版社の強い意見が反映されるような形での記述ではなくて、客観的な記述に、比較的心がけていらっしゃるのかなと思いましたので、東京書籍を推薦します。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。山本委員、お願いします。</p> |
| 山本教育委員 | <p>結論から言えば東京書籍です。</p> <p>アクティビティのことは、先ほどありましたが、やはりこれを見ていくと、一番充実していると思います。それから、社会科ですので、授業展開等がどういう形になっているかということも見てみました。各社とも問題解決的な手法は使われているのですが、東京書籍の場合は、単元を貫くということでの探究課題があって、1時間ごとの学習課題を設定していくという2段の展開が設定されていること、ここが特色だろうと思います。多少そのために煩雑さはあるのですが、考え</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>方としては大変に理解できます。</p> <p>それから、発信型の活動が充実していると思います。各社ともアクティビティを取り込むのですが、アクティビティに本当になっているのかなと感じるものもありました。東京書籍は自然環境を生かした北海道ツアーをしようなど、アウトプット型の非常に面白い活動がある。日本文教出版にもこういう面白い活動はあるのですけれども、先ほど言いました学習コンテンツのこともトータルで考えたときには、東京書籍だと思いました。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございました。藤原委員、お願いします。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>はい。結論から申し上げますと私も東京書籍を推薦したいと思います。</p> <p>地理分野というのは、社会科の中でも何かとこう無味乾燥と言えば語弊がありますが、暗記物中心というイメージがある科目なのかなと思います。そうした中で、各社さんとも各単元の末尾に付ける問題提起の部分で工夫をなさっているのですけれども、東京書籍が一番議論を促すといえますか、あるいは現代的な問題に結び付けて世界各地や日本で起こっている、今ニュースで出ているような問題に、どう結び付けて検討すべきか、という点で問題提起をされており、その点において一番学習意欲が高まるのかなと考えました。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。では、私の方から。</p> <p>日本とそして世界との関連をどのように取り上げているのか。また自分たちが住んでいる近畿は其中でどのように取り扱われているのかを、検証させていただきました。さらに防災の課題について、それぞれの教科書がそれぞれの地域ごとに起こる災害と、その対応についてまとめられていますが、自分たちが生活する地域を中心にどう対応するかという点で、教科書ごとにより特徴があったのかなと思っています。</p> <p>さらに、QRコードを使っての情報については、東京書籍と日本文教出版がかなり充実したものになっていますので、そのような観点から東京書籍を推薦させていただきます。</p> <p>以上です。</p> <p>この教材につきましては、全員が東京書籍なので、これで採択させていただきます。</p> |

| | |
|------------------------------|--|
| 義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長 | <p>す。よろしくお願いします。</p> <p>次に、歴史的分野について、選定委員会の説明をお願いいたします。</p> <p>垣内選定委員会委員長、お願いします。</p> <p>失礼します。歴史的分野の説明をさせていただきます。</p> <p>歴史的分野におきましても、調査の各観点において発行者に見られる特徴が報告されました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、導入の活動では、図、年表、資料、写真などが豊富にあり、情報を読み取る活動が行いやすくなっています。小單元ごとにチェック、トライとして学習内容を振り返り、確かめることができる工夫がされています。單元末には、まとめの活動を設け、思考ツールを使いながら学習内容を整理し、時代の特色を捉えることができます。</p> <p>教育出版は、「歴史すごろくにチャレンジしよう」や、「人物カード作りにチャレンジしよう」、また「身近な地域の歴史を調べよう」などの教材で、他者と協力して取り組みながら時代の流れを整理したり、基本用語の確認を行ったりすることができます。</p> <p>帝国書院は、タイムトラベルに各時代の人々の日常の生活の姿が、1枚の絵に細かく描かれており、時代の特徴をよく表しています。また、ほかの時代との比較もしやすく、関心を高めやすい教材です。未来にむけてのコラムを通して、様々な課題に目を向ける工夫がされています。</p> <p>山川出版社は、QRコードを利用し、「くわしく見てみよう」や「くわしく聴いてみよう」などのコーナーを通して、博物館、資料館のホームページサイトや動画を見たり、音声を聞いたりすることができます。地域からアプローチでは、掲載地域を様々な角度から考察し、歴史的分野の内容と関連付けて考えることができます。</p> <p>日本文教出版は、単元の終わりに「私が考える『中世』の特色」というように、習得した知識を関連させて、時代の特徴を捉える課題学習が示されています。歴史との対話では、災害や政治参加、世界平和について考える課題学習が示され、よりよい未来を構想する教材として扱われています。</p> <p>育鵬社は、歴史のモノサシにより歴史の大きな流れを捉えることができます。章の始めの「〇〇の世界へようこそ」で時代を象徴する歴史的事象をズームアップしており、設問に答えながら資料を詳しく見ることができます。</p> <p>学び舎は、特設ページ「歴史を体験する」でインターネットを通して調べ、学習</p> |
|------------------------------|--|

| | |
|--------|--|
| 重松教育長 | <p>を促す工夫がされています。章の振り返りで地図や年表などを活用して、歴史的 事象を関連付け、意見を交換する活動につなげる工夫があります。</p> <p>以上です。</p> |
| 側垣教育委員 | <p>ありがとうございました。</p> <p>説明が終わりました。これより質疑に入ります。</p> <p>歴史的分野について、何かご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>では、なければ、それぞれ委員から採択結果を願いますが、これについては7社 ありますので、二つ選んでいただくようによろしくお願ひします。</p> |
| 重松教育長 | <p>では、私の方から。結論から先に申し上げます。歴史的分野で私が推薦したいの は、東京書籍と山川出版の2社です。</p> <p>その理由は、東京書籍は、やはり幅広い視点から教科書作りをされているという ことと、それからやはりQRコードからのぞける様々なデータ、画像、映像が非 常に充実している。いろんなコンテンツを集められているというところが非常に すばらしいなと思いました。</p> <p>それから山川出版の方は、歴史のかなり専門的な教科書作りをこれまでもされて きた出版でもありますし、教科書の進め方、流れというものが自分自身で考えさ せようというところの設問、問いかけが多かったように考えました。それと、Q Rコードからウェブコンテンツ、先ほどの報告にもありましたように自分自身で 博物館や資料館に行ってみようなど、自分で行動して見ようという誘い掛けや、 資料提供がありましたので、山川出版がいいかなと思いました。</p> <p>以上です。</p> |
| 山本教育委員 | <p>ありがとうございました。山本委員、お願いします。</p> |
| 山本教育委員 | <p>結論から言いますと、東京書籍と帝国書院です。</p> <p>東京書籍の話は先ほどしましたが、地理も歴史も公民も考え方が、探究課題から 各時間の課題へという形で、その考え方が通っています。それに内容が、かなり しっかりしていると思います。特にまとめの活動等で、クラゲチャートや、ピラ ミッドストラクチャー、ダイヤモンドランキングなど、思考ということを促すた めの具体的な方法が、一番しっかりと登場していると思います。それからコンテ ンツに関しては、やはり一番充実しているなという気がします。</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>日本文教出版もアクティビティやチャレンジ歴史があって、発想がとても面白いのですが、チャレンジ性や、アウトプットが弱いという気がしました。</p> <p>それから帝国書院の場合は、コンテンツが、問題の解答中心という気がしたのですが、先ほどのアウトプットという面で行くと、赤穂事件を考察する、三酔人経綸問答などの活動はダイナミックで面白いと思います。それでこの二つにしました。</p> |
| 重松教育長 | ありがとうございました。では、藤原委員、お願いします。 |
| 藤原教育委員 | <p>はい。私から推薦したいのは、東京書籍さんと日本文教出版、2社になります。各社皆さんそれぞれ工夫されていると思うのですが、各單元において歴史的な事実の説明をした後に、さらに問いかけがあって、深めるというような構成になっております。その時に、一人で調べて何かをするというものがあれば一方で、生徒間で議論をすることを促すというものがある。さらに知識の再確認や、さらに細かい知識の調査を求めるようなもの、それぞれいろいろあったのですが、今回の学習指導要領の観点から考えるとやはりそれは、生徒の話し合いを促すというものが、一番趣旨が合致するのかなと考えました。その観点から考えたときに、問いの立て方として適切だったと私が考えたのが、東京書籍と日本文教出版ということになります。</p> <p>また、各ページ全てのページに、年表のグラフを付けている会社さんが4社ありました。これは、中学生ぐらいであれば、今歴史の中のどこを学んでいるのかということを常に立ち位置を確認しながら進める方がいいのかなと考えましたので、これがあるところをプラスで考えました。推薦した2社はいずれも各ページにグラフが付いています。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | ありがとうございます。次、長岡委員、お願いします。 |
| 長岡教育委員 | <p>よろしく申し上げます。私は、東京書籍さんと帝国書院さんです。</p> <p>歴史の教科書なので、史実と事象を客観的に伝えているということと同時に、その歴史をどう見ていくかということが大事だと思います。そういう意味で最初に事実が述べられていて、後に振り返ると問いがあるということなのですからけれども、東京書籍さんは、単元の終わりだけではなくて、随所にそういうところが見</p> |

| | |
|---------------------------------------|--|
| <p>重松教育長</p> | <p>られるところが、良かったと思います。それから子供への伝えやすさという面でもとても評価できるのではないかと思います。</p> <p>それから、子供たちが自分たちで考えるというような観点からいくと、記述の仕方に偏りがあってはいけないのではないかなとも思いましたので、そういった観点から東京書籍さんと帝国書院さんを推薦します。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。では、私の方から。</p> <p>歴史につきましては、現代そしてこれから未来を考える場合に、中世それから近代の在り方が非常に大切だと思っています。ですから、その部分でどう子供たちが思考するのか、それと色々なことを考えるのかということで、その取り扱いについて比較検討を行いました。また、兵庫県やその近畿圏のことも併せてどのように取り扱われているのかについても比較させていただきました。</p> <p>さらに資料としてのQRコードについても、その使用の在り方についても調査をしました。合わせてそれぞれの時代に取り扱われている人物も比較させていただきました。様々な具体的な事件や出来事等も比較した結果、私は東京書籍と日本文教出版がその意味では適切ではないかと考えております。</p> <p>以上で行きますと、東京書籍が全員入っていますので、東京書籍ということで決定させていただきます。よろしく申し上げます。</p> <p>では、次に公民的分野について、選定委員会の説明をお願いいたします。</p> <p>垣内選定委員会委員長、お願いします。</p> |
| <p>義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長</p> | <p>失礼します。公民的分野の説明をさせていただきます。</p> <p>公民的分野におきましても、調査の各観点において、発行者に見られる特徴が報告されました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、選挙権年齢と成年年齢の満18歳以上への引き上げに対応する18歳のステップでは、選挙の流れを理解させ、主権者意識を高めるための工夫が見られます。「みんなでチャレンジ」の活動が多く設定され、多様な意見に触れながら学習を深められる工夫がされています。</p> <p>教育出版は、「まちづくりのアイデアを提言しよう」では、地域の様子を知り調査テーマを決めながら、地域の課題を見つけ課題発見学習ができる工夫があります。コラムサイズの「公民の技コーナー」が設けられ、消費生活や経済活動に関する学習課題に取り組むことができます。</p> |

| | |
|---------------|--|
| <p>重松教育長</p> | <p>帝国書院は、「アクティブ公民」では、様々な立場を踏まえての合意形成を目指す議論が促されています。実社会に人々が連携・協働して社会的な課題の解決に取り組む姿から、公共の精神を備える工夫がされています。</p> <p>日本文教出版は、アクティビティや深めようをとおして、生徒が見方・考え方を働かせ、課題解決をすることができる工夫があります。「チャレンジ公民」では、社会の課題について考える活動ができ、資料や思考を整理する技能が提供されているため、全ての生徒が議論に参加できる工夫があります。</p> <p>自由社は、「やってみよう」、「アクティブに深めよう」では、生徒が江戸時代と現代との比較をしたり、まちの産業について分類したりしながら、対話的な活動を取り入れる工夫がされています。</p> <p>育鵬社は、スキルアップや社会科のまとめでは、発表や議論の仕方などが詳しく掲載されています。社会の課題解決に向けて、構想したり、未来の姿を構想したりすることに取り組む「これから」が、設けられています。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p> <p>公民的分野について、ご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、なければ各委員からお願いします。</p> <p>ここも6社ですので、2社の推薦をよろしくお願いします。</p> <p>では、山本委員、よろしくお願いします。</p> |
| <p>山本教育委員</p> | <p>結論から言いますと東京書籍と日本文教出版です。</p> <p>東京書籍の話は先ほどからずっとして、展開の仕方も、一貫しているのですが、少し違う観点から言うと、章ごとに基礎基本のまとめというのを、これは各社ともしているのですが、非常に丁寧にしています。その次のまとめの活動というのも、面白い。また、ツールミン図式を紹介しています。情報をつないでどう書けばいいか、具体的な方法を紹介しつつ、市長になって条例を作ろうなど、かなりダイナミックな活動を取り入れています。</p> <p>日本文教出版は、公民で「各教科の見方・考え方」ということを、主張されています。また、公民では、シンキングツールなどを使っている。アクティビティについては、表の整理など、そんなにアクティビティさを感じないのですが、チャ</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>レンジ公民と明日に向かってという、この二つが面白いと思います。アウトプットの活動がかなり入っているということで、この二つと考えました</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。藤原委員、お願いします。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>はい。私から推薦したい2社は、東京書籍さんと日本文教出版の2社になります。公民科目の一つの目的として、きちんとした主権者になること、だと思います。近代の形成過程というのは、国家と国民の緊張関係とその調和という観点に立って、うまくその関係を築くというところにきちんとした主権者になると。これは西宮市が一つ進めているシチズンシップを持つということにも関わってくるものであると考えます。常に国に反発しているものでもなければ、迎合するものでもない、その適切なバランス関係というのをとるための訓練をするというところであると考えています。そうしたときに、公民の分野できちんと立憲主義なり、法の支配といった概念の説明ができていくかどうかというのは、一つ遵守しました。ある会社さんは、そもそも概念的に誤ったことを書かれているのではないかとと思われるような記述もあったので、そこのところは各社見たところ、やはり推薦した2社が適切なものであったと思います。</p> <p>さらにその2社さんなのですけれども、例えば、模擬裁判や、模擬選挙、あるいはネット社会、裁判員のシミュレーションであるといったような、生徒間の一つの題材としてできるようなものを適度に記述しておられるということもあります。</p> <p>後、憲法改正に関する議論を各社さん書かれております。手続的要件だけではなくて、どんな論点があるのかということも触れておられて、現代的には非常に面白いことを書かれていると思いますが、一方で近代的な価値観というのは、憲法改定手続によっても変えられないのではないかと古典的な議論がありまして、その点を問題提起されていたのが日本文教出版さんでした。</p> <p>後、仕事柄、私が若干気になったのは、司法制度改革についての記述がそれぞれ一つ設けられているのですけれども、これも20年経って大分批判も多いところなので、そういった批判的な視点をもって書かれているかどうかという点も拝見しました。そうしたところから、推薦する2社を結論として選ばせていただきました。</p> <p>以上です。</p> |

| | |
|--------|---|
| 重松教育長 | ありがとうございます。次、長岡委員、お願いします。 |
| 長岡教育委員 | よろしく申し上げます。私も東京書籍さんと日本文教出版さんです。 理由は、この教科だけではないのですが、この2社さんは特に他教科と関連付けて学ぶことができるような工夫がなされているという点。それから、グラフや地図が勉強しやすく配置されているというところで、生徒たちが使いやすいのではないかという点から、この2社さんを推薦します。 以上です。 |
| 重松教育長 | ありがとうございます。側垣委員、お願いします。 |
| 側垣教育委員 | 私はこの公民の教科書を見るときに、一つ私の専門領域である子供の権利をどう書かれているのかというところで、見させていただきましたが、そういう点からいうと、丁寧に説明がしてあったのが東京書籍と日本文教出版でしたので、2社を推薦します。 後、先ほど藤原委員もおっしゃいました憲法についての取り扱い、あるいは子供の人権ということも含め、人の権利の取り扱いについての記述を読ませていただきましたが、この2社が積極的に記述をされているなということと、それからもう一つ、授業の組み立てというか子供たちが能動的に授業に参加できるような組み立てがなされているということ。それからもう一つ、他教科の関連ということと、同じ社会の地理や歴史等を関連付けた問いかけがされているところで、この2社を推薦しました。 |
| 重松教育長 | ありがとうございます。では、私の方から。 公民につきましては、基礎基本的なことが着実に理解できるような工夫がされているのかということと、その知識等をもとにして生徒自身が自分の課題として向き合い、自分の考えをしっかりとめ、自分の考えをもとに相互が話し合っ、自分の考えを深めていくことができるような取り組みがなされているのかということと、資料や情報が適切に配置されているのかということを見せていただき、そのためにQRコードなどの活用がなされているかも点検し、その結果として、東京書籍と日文ということになりました。 全員が同じ結論なので、最終的にどちらかで決めていただくこととなります。 少し間を置きますので、5分間ほどしたら、それぞれどちらにするかを決めてい |

| | |
|------------------------------|--|
| 重松教育長 | <p>ただきたいと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>(再検討)</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、二択でどちらかお願ひしたいと思います。</p> <p>そうしたら、山本委員お願ひします。</p> |
| 山本教育委員 | <p>東京書籍です。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>日文です。</p> |
| 長岡教育委員 | <p>東京書籍。</p> |
| 側垣教育委員 | <p>東京書籍です。</p> |
| 重松教育長 | <p>私は日文。</p> <p>東京書籍が3人、日文が2人ですので、結果、東京書籍ということで決定させていただきます。</p> <p>次に、地図帳について選定委員会の説明をお願いいたします。</p> <p>垣内選定委員会委員長、お願ひします。</p> |
| 義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長 | <p>失礼します。地図帳の説明をさせていただきます。</p> <p>地図帳におきましては、二つの発行者を比較し、観点ごとの特徴に加えて、どのような違いがあるのかを調査いたしました。</p> <p>東京書籍は、地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野を補完する資料を掲載し、学習効果を高める工夫があります。また、キャラクターの吹き出しを使用しており、考察が深められるようにしています。</p> <p>帝国書院は、QRコードを世界の各州や日本の地域ごと設けて、専用サイトで資料が閲覧できるようになっています。地震の震源とプレートが確認できる資料図があり、理科での活用も期待できます。</p> <p>以上です。</p> |

| | |
|--------|---|
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p> <p>地図帳について、ご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、各委員から説明をお願いします。</p> <p>藤原委員からお願いします。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>はい。結論から申し上げますと帝国書院さんを推薦させていただきたいと思えます。</p> <p>2社については、大変迷いました。といいますのは、地図そのものの見やすさという点においては、なかなか優劣がつけがたいところが率直に言っております。ならばそのネガティブなところはどうかと思って、例えば我々の西宮市が、ページの折り目に来ておらずに、きちんとページの真ん中に表記されているかというところを拝見したところ、どちらの会社さんも阪神間の拡大図というのは西宮市がちょうどページの折れ目に来てしまっているという残念な状況が共通しておりました。そこでも優劣がつかず、資料部分も資料によって位置を手繰ると、一方は例えば中国がすごく充実している。もう一方は、東南アジアのところを見るとこちらの方が良いなという感じがありまして、資料部分も一長一短があるというところでした。</p> <p>結局、いろいろ考えた結果、帝国書院さんの方は、教科書が大きいこと。小さいより大きい図で、大判で見るのがいいのではないかとこのところ、私は帝国書院さんを選ばせていただきました。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。次、長岡委員、お願いします。</p> |
| 長岡教育委員 | <p>私も帝国書院さんです。</p> <p>理由は、まさにその通りです。もうどっちがどうということはないのですけれども、単純に大きくて見やすいということが一番の理由です。そして若干ですが、京阪神間の記述が帝国書院さんの方が、少しだけですけども多く見られるかなと思います。でも、一番の決め手は、大きくて見やすいというところですよ。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>側垣委員、お願いします。</p> |

| | |
|--------|---|
| 側垣教育委員 | <p>私も帝国書院を推薦します。</p> <p>理由につきましては、今、長岡委員が言われたところとほぼ一緒です。QRコードを利用して様々なところに飛べ、世界を、あるいは各地域を意識したところで、見ることができるという工夫は両社とも同じような工夫をされているのですけれども、最後の決め手は、A4判の大きさかなというところでは、</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。山本委員、お願いします。</p> |
| 山本教育委員 | <p>結論は、帝国書院です。</p> <p>帝国書院は資料等で日本との結び付きということを必ず設定しています。今の我が国の貿易額において、アメリカではなくて、中国が1位なのですが、ここについての記載が充実しています。それから、面白かったのは31ページ、32ページです。大陸から見た日本という地図があります。中国やロシアから日本を見たときの逆さ地図です。今、地政学の視点はとても注目されていて、それが入っています。こういう地図は、富山県でも作っているのですが、地図を使って多角的に捉えるということはずごく大切だと思います。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。私の方からですが、日本そして世界の取り扱い方、それからQRコードの使用、先ほどのそれぞれの委員が言われたようにほとんど差がないので、どちらかという最終的には、使いやすさということで、A4になっているということに合わせて、私も帝国書院にさせていただきました。</p> <p>以上です。</p> <p>そうしたら、これは全員、帝国書院なのでよろしいですね。よろしく申し上げます。</p> <p>次に、数学ですが、少し時間がながくなっていますので、数学が終わったところで、5分休憩を取らせていただきます。</p> <p>そうしたら、数学の教科書についての採択の審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をお願いいたします。</p> <p>垣内選定委員会委員長、お願いします。</p> |

| | |
|---------------------------------------|---|
| <p>義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長</p> | <p>失礼します。数学科の報告をさせていただきます。</p> <p>数学科におきましては、デジタルコンテンツやQRコードの利用内容についても話題になりました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、基本の問題、補充の問題など豊富な練習問題で基礎基本の定着が図れます。また、全国学力・学習状況調査や入試に対応した問題等も取り上げられております。生徒が自らシミュレーションできるデジタルコンテンツが豊富にあり、効果的に活用することができます。</p> <p>大日本図書は、既習学習との関連を重視した導入課題「考えよう」により、新たな学習への興味、関心を持って取り組むことが期待できます。問題発見、課題解決の流れを意識できる工夫があり、統計的な問題解決法を身に付けさせる数学的活動が示されています。</p> <p>学校図書は、話し合いのツールとして、アイデアボードが掲載され、協働学習の場で活用できます。役立つ数学において実社会の仕事に関するコラムの紹介や持続可能な開発目標の記載があり、世界や環境問題などに目を向ける工夫がされています。</p> <p>教育出版は、「学習する前に」や「もどって確認」などで適宜既習内容を振り返ることができます。学習のプロセスページでも考えを振り返る場面が設定され、学習を評価したり、改善したりする工夫がされています。</p> <p>啓林館は、「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2部構成となっています。「自分から学ぼう編」では、活用的な内容や補充の問題も用意され、習熟度に応じて対応することができます。</p> <p>数研出版は、Qやトライという投げかけがあり、自分の考えを他者と交流したり、数学的言語を用いて説明したりする活動が設定されています。別冊探究ノートで総合的な問題に取り組むことができます。</p> <p>日本文教出版は、学年ごとの系統性や3年間を通した関連性や小・中・高の連携に配慮されています。「話しあおう」では、話しあおうマークが付けられ、数学的活動を他者との関わり合いの中で深めていける工夫がされています。</p> <p>以上です。</p> |
| <p>重松教育長</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p> <p>数学科について、ご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>では、なければそれぞれの委員から採択結果を報告願いますが、ここも7社です</p> |

| | |
|--------|--|
| 長岡教育委員 | <p>ので、2社それぞれ推薦をよろしくお願いします。 そうしたら、長岡委員、お願いします。</p> <p>東京書籍さんと啓林館さんです。 数学の教科書を選ぶ観点ですけれども、日常的に数学がどう生かされているのか、というところを見ました。数学と日常生活のつながりが分かりやすく示されている点。それから、この学びが受け身的にならないかどうかということで、この2社さんは自学自習でも活用できるような、そういった内容になっているのではないかという点から、この2社さんを推薦します。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。側垣委員、お願いします。</p> |
| 側垣教育委員 | <p>私は、自分自身が小学生からずっと数学、算数が嫌いな生徒でしたので、そういう視点で数学っていうのは楽しいな、面白いな、学ぼうかなという気持ちでわいてくるような教科書があったらいいなという気持ちで見せていただきました。 7社あって非常に比較が難しかったのですが、その中で選ばせていただいたのは、まず一つは、東京書籍です。それからもう一つは、啓林館です。 東京書籍は、やはり幅広いところからデジタルコンテンツなども非常に理解しやすいようなものとして作成されていますし、協力して問題を解いていくという、課題を解決していくというところへの導入がかなり練られているなど考えて見ました。 それから啓林館の方は、やはりデジタルコンテンツが非常に豊富なので、そういう意味では興味を持って、それで自分自身がやってみようという気持ちが起こるような教科書ではないかなという思いで、この二つを選ばせていただきました。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。山本委員、お願いします。</p> |
| 山本教育委員 | <p>結論から言いますと、東京書籍と啓林館です。 東京書籍の方は、特にコンテンツが抜けているという気がします。数学というのは図形や関数など、動きがすごく大切なのですが、そういうことが大変使いやすく作られていると思います。それから巻末等に載っている問題の解答が丁寧です。それが問題集的だと言えばそういう見方もあるのですが、自学でも、ということ言えば使いやすい。</p> |

| | |
|--------|--|
| 重松教育長 | <p>啓林館は、迷いました。考え方はよく分かります。ただ教科書が、表からと裏からとどちらからも開くようになっていて、使いやすいのかという点では、疑問もあります。発想や考え方は分かります。ですから、この二つです。個人的には大日本図書の「MATHFUL」が面白かったのですが、教科書としてはやはり少し違うかなと思って、先ほどの二つにしました。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>ありがとうございました。藤原委員、お願いします。</p> <p>藤原です。先ほど側垣委員が数学は不得意だとおっしゃいましたが、私は逆に数学が昔から大好きで、子供のときから一貫して好きだったので、一方で数学が得意ではない方というのは、数学的な問いっていうのがそもそも実生活のどこで役に立つのかというところに疑問があるのではないのかなと考えます。そうした観点から教科書も検討させていただきました。</p> <p>そうしたときに私も結論としては、東京書籍と啓林さんの二つになりました。</p> <p>問題提起を、各社さんとも日常生活の中から結び付けようという努力を感じ、工夫を感じるところであります。ただ、中学生の生活の中で結び付けるという観点から考えたときに、東京書籍さん、啓林さん、そして数研出版さんと後、大日本図書さんが、工夫としては面白いなと感じるところがたくさんありました。</p> <p>次に拝見したのはQRコードということになります。QRコードは、各社さんともいろいろ作られているのですけれども、一つ数学が苦手な生徒の助けになるようなものとしては、やはり教科書の中のものをいかに動的に見せるか。動的に見せてイメージをつかませるかという点が大切になってくるのかなと考えます。そうしたときに、東京書籍さんのQRコードコンテンツというのが、一つ抜けている。抜けているというのは、欠如しているという意味ではなくて、群を抜いているという意味です。</p> <p>啓林さんのものも内容的には面白いと感じ、この2点を推薦させていただきます。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。では、私の方から。</p> <p>数学の場合は、生徒がどのくらい興味を持って取り組もうとしているのか。導入の部分の題材の扱い方というのが非常に大きいのかなと思います。その題材が社会の実生活に関連しているのか、それから数学的な考え方が物事を論理的に思考する場合に大きな役割を果たすので、単に問題を解くだけではなくて、それを実生活の中で活用できるような工夫がなされているのか等について検討させていた</p> |

| | |
|----------------------|--|
| | <p>できました。また、QRコードの活用についてもただドリル的なものだけではなくて、考え方のヒントになるものがあるのか、又は系統立てているのかということ。さらには、今言われているプログラミング学習との関連が示されているか等を検討させていただきました。私の方からは、啓林館と数研出版という形で推薦させていただきます。</p> <p>そうしますと、東京書籍が4人、啓林が5人という形になるので、申し訳ないですが、啓林で決定という形でよろしくをお願いします。</p> <p>では、ここで10分間ほど休憩をさせていただきます。その後、理科から開催させていただきますので、3時50分から開催させていただきます。</p> <p>よろしくをお願いします。</p> <p>(休憩)</p> |
| 重松教育長 | <p>では、理科から始めさせていただきます。</p> <p>理科の教科用図書採択につきましての審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をお願いいたします。</p> <p>垣内選定委員会委員長、よろしくをお願いします。</p> |
| 義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長 | <p>失礼します。理科の報告をさせていただきます。</p> <p>理科におきましては、どの発行者も図や表などの資料の分かりやすさや、動画の利用などにおいて工夫がなされているとの報告を受けました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、生徒の主体性を引き出す工夫がされており、イラストを用いて対話的な活動を促す工夫もあります。関連本の紹介や自由研究につながる記述は生徒の課題発見につなげることができます。</p> <p>大日本図書の第1学年の地学の単元では、火山の学習の次に地震の学習を行い、大災害につながる大地の現象のつながりが示されています。またその後、地層の学習が設定され、配列に工夫が見られます。</p> <p>学校図書は、随所に掲載されたQRコードを利用して、動画や練習問題、コラムなどを視聴することができます。比較的大きな図が多く配置されています。余白や図の配置には余裕があり見やすくなっています。</p> <p>教育出版は、導入で大きい写真を紹介し、興味関心を高める工夫がされています。対話場面のイラストや意見セリフの吹き出しが多く掲載され、他者と学習を進める手だてがあります。ページの隅々まで文字が行きわたり通読しやすくなってお</p> |

| | |
|---------------|---|
| <p>重松教育長</p> | <p>り、重要語句はオレンジ色で掲載されています。</p> <p>啓林館は、探Q実験、探Qシートといった自ら課題を見つけ、計画的に探究活動へ導入できるような付録が付いています。文章を教科書の中心に、図版などは両サイドに配置しているため見やすさがあり、QRコードが多数配置され、独自の動画が豊富に用意され、詳しい説明動画が掲載されています。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今、理科について説明がありましたが、何か、ご意見、ご質問はありませんか。よろしいですか。</p> <p>それでは、各委員から採択結果を報告させていただきます。</p> <p>そうしたら、側垣委員からお願いします。</p> |
| <p>側垣教育委員</p> | <p>私は、5社の中から啓林館を推薦したいと思います。</p> <p>理科というのは、仮説・実験・結果という考えの流れがあるわけなのですが、その中で各单元ごとに先ほど説明がありましたように探Q実験や探Qシートというものを設定して、自分自身で計画的に取り組んでいこうという思いが生み出されるような教科書作りになっているなということ。それからQRコードのコンテンツが非常に豊富に準備されているということ。それから教科書の中に写真がたくさん入っているのですが、地元の神戸の写真であったり、震災のときの写真であったり、そういうものが配置されて自分の身近なところに近付けた思いや考え方ができる。実社会や生活との関連性を持った理科科学の勉強ができるかなということで、啓林館を推薦いたします。</p> |
| <p>重松教育長</p> | <p>ありがとうございます。山本委員、お願いします。</p> |
| <p>山本教育委員</p> | <p>私も結論から言うと、啓林館です。</p> <p>科学ですので、仮説という問題解決的な手法はどこも取り込んでいるのですが、仮説ということをかかなり丁寧に扱っている会社とそうでない会社とがあって、啓林館は詳しく扱っていました。</p> <p>それから啓林館は基礎基本から発展まで非常にバランスよく取れているなという気がします。単元末の学習のまとめや、力試し、探究活動などを押さえながら発展させているというのが、非常にバランスがいいという気がしました。</p> |

| | |
|--------|--|
| 重松教育長 | <p>今回の学習指導要領のキーワードの一つが、探究ですがこの言葉を具体的に押さえて展開させて子供の自主的な活動の充実の工夫もしっかりされていると思います。コンテンツの充実、教科書の見やすさなど、総合的に考えて啓林館と考えました。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>ありがとうございます。次、藤原委員、お願いします。</p> <p>私からも、啓林館を推薦させていただきたいと思います。</p> <p>理科というものにおいて、まず、問題の提起なり、問題の発見があって、そこから実験、観察を行って結果が出て、その結果を考察するという流れがあるのですけれども、皆様ご指摘のとおり、実験観察の前に必ず仮説を立てるという過程を設ける必要があります。この仮説を立てる過程を5社さんのうち1社少し見当たらないということがあったので、その過程を飛ばしているというのは、採用することはできないと考えました。後の4社さんは、仮説を立てるという過程がありました。その次の視点としまして、ほかの科目もそうなのですが、どこまで懇切丁寧にやるか、それとも授業の裁量の余地を残すかという点。もう一つは、兵庫県に関連するトピックがどれほど充実しているか、とりわけ地震関連のところで阪神淡路大震災の研究が充実しているかどうかという視点から考えていった結果、啓林館と考えました。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。長岡委員。</p> |
| 長岡教育委員 | <p>はい、私も啓林館さんを推薦します。</p> <p>同様に、仮説を立てさせるというところがしっかりできていることと、仮説だけではなくて、その後の実験計画のところまで促していくというような流れが見えています。單元ごとの流れもそうですし、全体として非常にまとまっているのではないかなと思います。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。では、私の方から。</p> <p>理科としては、具体的な課題を示して、資質能力を育成することに工夫が見られるかということですので、また実生活や社会において、関連付けての科学の有効</p> |

| | |
|------------------------------|--|
| | <p>性が理解できるものになっているか、そのことで学びの深まりが実感できるものになっているかということ、さらにQRコードが学びを生かせるために工夫されているかなどを検討させていただきました。その結果としては、やはり啓林館かなということで、私も啓林館を推薦させていただきます。</p> <p>これは、全員啓林館ですので、これで決定したいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>次に音楽の教科書採択について、審議を始めます。</p> <p>音楽につきましては、一般とそれから器楽とありますが、まず一般について、選定委員会の説明をよろしくお願いいたします。</p> <p>垣内選定委員会委員長、よろしくお願いいたします。</p> |
| 義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長 | <p>失礼します。音楽科の報告をさせていただきます。両発行者において、歌唱や器楽の取り扱いについて話題になりました。</p> <p>また、音楽経験の差や音楽が得意、不得意など生徒に対する配慮についても話題になりました。QRコードは、両発行者共に掲載されておりました。</p> <p>まず、音楽（一般）の報告をいたします。</p> <p>各発行者の特徴ですが、教育出版は、「ACTIVE！」が随所に配置され、ワークシートを利用しながら学びを深める場面が設定されています。私たちの暮らしと音楽について、学習するページがあり、生活を結び付けて考える工夫がされています。教材の情景をイメージしやすい写真やイラストが多く使われているのも視覚的に内容を伝える効果の一つと考えます。</p> <p>教育芸術社について、国歌について楽譜や歌詞の大意に加えて解説も掲載されています。「深めよう！音楽」では、話し合い活動が順を追って設定され、対話的な活動を促すことができます。指揮やリズム打ち、アウトリーチに関するページもあり、体験活動につながる工夫がされています。英語の歌や東日本大震災に関する歌が取り上げられたり、著作権に関する記述が詳細に記されたりしています。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。</p> <p>音楽一般について、ご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>ないようですので、では、各委員から採択結果を報告願います。</p> <p>まず、山本委員、お願いいたします。</p> |

| | |
|---------------|--|
| <p>山本教育委員</p> | <p>私は、教育出版です。</p> <p>決め手となったのは、学習コンテンツです。いいか悪いかは、考え方によるでしょうが、多くの曲の鑑賞や、パートについての鑑賞という、生徒が実際に見ようと思えば見ることができる、聴こうと思えば聴くことができる、助けとなるような学習コンテンツが教育出版の方が、多かったということです。</p> <p>以上です。</p> |
| <p>重松教育長</p> | <p>ありがとうございます。そうしたら藤原委員、お願いします。</p> |
| <p>藤原教育委員</p> | <p>私は、教育芸術を推薦させていただきます。</p> <p>幾つか理由があります。それぞれの曲の紹介等は、そう差があるとは感じませんでした。一つ、創作のところ、どういったアプローチを求めるといふときに、教育芸術社のコードネームからメロディーを作るという方法が示されて、教育出版の方は、言葉の抑揚からメロディーを作るという方法が示されていました。この手段としてはいずれも適切だと思うのですけれども、言葉から作る時というのは、歌詞があることが前提であり、歌詞が一つその秀作であるということが前提になっている点で、コードネームというところの方がいいのかなと感じました。その関係でコードネームをきちんと理論で解説しているのは教育芸術社の方でした。</p> <p>後、著作権の説明のところを見たときに、教育芸術社の方が、著作権というのはお金が発生するもので、すなわちそれによって生活する人がいるという視点で書かれておりました。後、末尾の君が代の紹介のところ、君が代についていずれも他国を尊重する心を持つことの重要性というのを指摘されているのは、すばらしいと思いました。健全な愛国心というの、他国を尊重する心が前提としてあるべきと考えますので、その点はすばらしいと思います。</p> <p>ただ、教育出版の方で、誇りを持って歌いましょうと書いてくださっており、誇りを持って歌うことは非常に重要なことだと思うのですけれども、その点は内心に関することなので人それぞれなのかなと思いましたので、もう少しニュートラルな書き方でも良かったのかなと思います。</p> <p>以上から教育芸術社を推薦させていただきます。</p> |
| <p>重松教育長</p> | <p>ありがとうございます。長岡委員、お願いします。</p> |

| | |
|----------------------|--|
| 長岡教育委員 | <p>私は、教育芸術社さんです。</p> <p>こちらの出版社さんの方が、演奏者などの説明が非常に詳しいということと、QRコードなどで音源が聴けるというのもよかったですので、こちらの社を推薦したいと思います。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。側垣委員、お願いします。</p> |
| 側垣教育委員 | <p>私は、教育出版の方を推薦します。</p> <p>先ほど山本委員も言われましたけれども、全体的なバランスであったり、それから生徒が自分自身で学べるような模範演奏であったり、動画がたくさんあるというコンテンツですね、そのあたりが魅力的かなと思います。</p> <p>両社ともそうなのですが、もっともっと音楽の授業が楽しくなるのかなと思います。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。私の方からは、音楽としては歌ったり、演奏したりという体験活動を通して音楽が形作られています。メロディーやハーモニー、リズムといった3要素の働き方について、実体を伴う学びができるようになっていくか。また、鑑賞教材などを通して音楽を創造する喜びを作り、知ること、主体的な学びを育てる工夫がなされているかの点で検討をして、私は教育芸術社の方を推薦させていただきました。</p> <p>以上の結果、3対2という形になりますが、教育芸術社でよろしいでしょうか。では、それで決定させていただきます。</p> <p>次に、音楽の器楽演奏について、選定委員会の説明をお願いいたします。</p> <p>垣内選定委員会委員長、お願いします。</p> |
| 義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長 | <p>失礼します。次に音楽科（器楽演奏）の報告をさせていただきます。</p> <p>発行者の特徴ですが、教育出版は、アルトリコーダーの指使い、ギター、キーボードのコード表が折り込みページとして採用され、とても見やすくなっています。写真や挿絵を多く使用したページと楽譜のみを掲載したページに区別されています。箏の引き方については、QRコードにアクセスすると動画視聴をすることが</p> |

| | |
|--------|--|
| 重松教育長 | <p>でき、分かりやすくなっています。</p> <p>教育芸術社は、リコーダー、箏、三味線など取り上げやすい楽器を中心に充実しています。様々な打楽器を写真で紹介しているページもあります。項目ごとに目標設定が明確に表記され、ポイントやQ&Aも多く、学習の道筋が分かりやすくなっています。グループワークの方法がイラストを用いて分かりやすく紹介されています。</p> <p>以上です。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>今の楽器についての説明につきまして、何かご質問ありましたら、よろしいですか。</p> <p>それでは、各委員の方、よろしく申し上げます。</p> <p>最初に藤原委員、よろしく申し上げます。</p> |
| 重松教育長 | <p>私は、教育芸術社さんを推薦させていただきたいと思います。</p> <p>音楽一般の方と同様にはなるのですけれども、中学生から楽器を始めるといった場合にブラスバンドに入って吹奏楽を始めるという人が多い一方で、そうでない人というのは、では一体どんな楽器をするのかなと思うと、やはりギターをする人が多いのかなと思います。そうしたときに、教育出版の方のギターの方がストローク奏法についての説明がなくて、そんな難しいこといきなりできるのかなという内容になっております。そういう意味では、教育芸術の方がスタートの敷居としては低いところからスタートしているように思います。また、ギターのコードネームの押さえ方について、指をイラストで描いているのか、実写で描いているのかというところで、やはりここはイラストで描いてある方が押さえ方としては見やすいのかなと考えました。</p> <p>後、教育芸術の方が打楽器の紹介において、打楽器の奏法についてもきちんと説明してくださって、単に紹介で終わらないというところがありました。楽器ができる人生が豊かになるということがよく言われるところですので、生徒たちは楽器に親しみを持ってほしいなと思います。</p> <p>以上です。</p> |

| | |
|--------|---|
| 長岡教育委員 | <p>私も教育芸術社さんです。</p> <p>楽器の解説だけではなくて、奏法の具体的な説明がきちんとなされている点。それから、先ほど藤原委員もおっしゃいましたが、両社ともギターのコードの説明をしてあるのですけれども、写真よりはイラストの方がやはり見やすかったので、そういう点からいって教育芸術社さんを推薦します。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。側垣委員、お願いします。</p> |
| 側垣教育委員 | <p>器楽というのは、本当に自分がやってみようかなと思えるような気持ちになる、そういう教科書であってほしいなと思います。自分自身も楽器を演奏しますので、そういう視点から見せていただきまして、この器楽の教科書については教育芸術社の方を選ばせていただきました。それぞれ自分でやってみようかなというところの説明、それから例示が非常に分かりやすいなということと、全体的にすっきりした感じで、子供たちがこの教科書を手に取ってみようかなという気持ちになってくれるような教科書かなと思います。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。そうしたら山本委員。</p> |
| 山本教育委員 | <p>私は、教育出版です。</p> <p>取り扱っている楽器の数などは、ほとんど同じです。打楽器の扱いは、教育芸術の方が詳しいです。反対にアルトリコーダーの方は、教育出版の方に登場し、甲乙つけがたいのですけれども、最終的に、各楽器の演奏法が動画でよく分かるということで、教育出版と考えました。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。私の方は、様々な体験を通して音楽の楽しさを知ることが一番大事ではないかと。だから日常の生活の中でそれをやってみようという意欲につながるものであってほしいなということから、教育芸術社の方にさせていただきました。</p> <p>そうしたら、これは4対1ですので、教育芸術社ということで決定させていただきます。</p> <p>では、次に美術科の教科用図書採択についての審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をお願いいたします。</p> |

| | |
|------------------------------|---|
| 義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長 | <p>垣内選定委員会委員長、お願いします。</p> <p>失礼します。美術科の報告をさせていただきます。</p> <p>美術科におきましては、郷土を大切にしながら芸術的な感覚を育ててほしいという願いをもとに、調査をいたしました。</p> <p>どの発行者も学習の目標が明確に示され、見通しを持って学習を進める工夫がされていました。また、対話的な活動ができる教材や場の設定もされていました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、開隆堂は、各ページに学習ポイントが示されており、話し合い活動が取り組みやすくなっています。作家の顔写真や作品を制作している人の顔が入った構図が多く、作者の思いを表情からも読み取ることが期待できます。作品写真が大きく取り上げられ、美術2、3には、紅梅図襖と松林図屏風が上下で比較鑑賞できるようなレイアウトの工夫があります。</p> <p>光村図書は、教科書後半に学習を支える資料が整備されており、十分な資料で知識や技法を解説しています。制作風景や作者の言葉を掲載することで、創作意欲を高めることが期待できます。美術1に風神雷神の彫刻と図屏風が掲載され、迫力のあるものとなっています。また、多くの作品手順が図入りで説明されており、分かりやすくなっています。</p> <p>日本文教出版は、3年間の学習が一目で分かるページが写真入りで紹介されています。アニメや芸能人の作品紹介もあり、興味を引き付ける工夫となっています。美術1に掲載されている風神雷神図屏風は、屏風の美の仕掛けと共に紹介され、実際に操作をしながら仕掛けが体験できます。一つのテーマでいろいろなジャンルの作品が紹介され、アイデアスケッチの手助けとなっています。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>説明が終わりましたがこれについて、ご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、それぞれの委員から結果を報告をお願いします。</p> <p>まず、長岡委員、お願いします。</p> |
| 長岡教育委員 | <p>私は、開隆堂さんです。</p> <p>どの教科書も美しく、見ていて楽しくなるような教科書でした。委員の皆さんとも話していたのですが、全部買いたいというぐらい見ていて楽しいというもの</p> |

| | |
|--------|---|
| | <p>でした。美術の学習の中で鑑賞をするというポイントもあると思うのですが、他方、自分で創作していくというところにどれほど面白さを、教科書の中から見出せるかなといったときに、そういったところが開隆堂さんにはほかと比べてあったということ。鑑賞にもつながるかもしれないのですが、拡大の写真があって、非常に観察しやすい。写真から観察しやすいといった点からも、開隆堂さんを推薦したいと思います。</p> |
| 重松教育長 | ありがとうございます。そうしたら側垣委員、お願いします。 |
| 側垣教育委員 | <p>私も開隆堂を推薦したいと思います。</p> <p>分かりやすい表現があるということと、それから、他教科との連携を考えてあるということです。それと、中にもありましたけれども作者の思いであったり、作者の顔写真があったりして、どういう思いでその作品ができているのかということについて、思いを巡らせるような工夫がしてあるということです。それから、全体的なレイアウトが非常にすっきりして伝わりやすい教科書になっているのかなと思いましたので、開隆堂を推薦させていただきます。</p> |
| 重松教育長 | ありがとうございます。山本委員、お願いします。 |
| 山本教育委員 | <p>私も結論から言うと開隆堂です。</p> <p>やはり楽しめる教科書や、めくりたくなる教科書、そういうことについては、それぞれの教科書会社が本当に工夫されているなということを改めて、感じました。決め手は、このコンテンツの数が圧倒的ということです。やはり鑑賞から始まるだろうと思います。そのコンテンツをずっとめくっていくと世界や、日本の美術館などの作品が多数、迫力をもって登場してきます。そういう点では徹底していると思い、開隆堂を選びました。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | ありがとうございます。藤原委員、お願いします。 |
| 藤原教育委員 | <p>私も結論としては開隆堂さんを推薦したいと思います。</p> <p>2点ほどあります。まず、3社さんともそれぞれ美術雑誌かと見まちがうばかりの豪華な充実した内容になっていると感じます。ただ今後、若い人というか若い</p> |

| | |
|-------|--|
| 重松教育長 | <p>人に限らずみんなに求められることとしては、世の中ロジックやサイエンスだけではなくて、アートの思考というのが必要になると言われています。そのためにもアートというものに触れる機会がたくさん必要だということが言われております。そうした際に、いちいち説明よりは、取りあえず数。たくさん触れるということに重点を置いたのはどれかという視点で考えました。</p> <p>もう一つ古典的な美術作品だけではなくて、町なかにあふれるいろんなデザイン、これも実はアートであるという観点から、現代アートや、ロゴデザインなど、そういったものも幅広く紹介してくれている教科書という視点で考えました。</p> <p>もう一つの視点としては、もっと大人になって、年をとってから美術を再開されるという方が現代にたくさんいらっしゃるかと伺っております。そうしたときに、道具の使い方を中学ぐらいのときにしっかり身に付けておくということが長い人生において役に立つのかなと考えました。そうしたときに、道具の使い方の説明という点で、抜き出していたのが開隆堂さん。幅広いコンテンツという意味でも開隆堂さんと考えました。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございます。私の方からですが、今委員が4人言われたのと少し観点が違いまして、美術が日常生活の中でいかに生かされているかということについては、ほとんど変わりはないのかなと思いますが、ただ、その作品を作っているものが子供であるのか、いや、大人の作品なのかということが大きく違います。要するに同じ仲間の子供たちの作品がたくさん並んでいるのであれば、それを見ながら僕にもこんな描けるよなというようなことになるのか、という視点が違うので、与えられた作品が子供の方に向いているのかとか、子供が中心になっているのか、それともそういう芸術家で作った作品なのか。だから鑑賞という意味では、きちんとした作品という意味が大きいのかなと思いますが、そのあたりの観点が少し違っていたので、私としては開隆堂もなかなかすばらしいものですが、子供たちの作品があつて、そのための技法や、やり方が示されている日本文教の方を推薦させていただきます。</p> <p>結果としては、開隆堂が圧倒的なので、開隆堂で決定させていただきたいと思えます。よろしくお願いします。</p> <p>次に、保健体育の教科書について、審議を始めます。</p> <p>選定委員会の説明をよろしくお願いいたします。</p> <p>垣内選定委員会委員長、よろしくお願いします。</p> |
|-------|--|

| | |
|---------------------------------------|---|
| <p>義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長</p> | <p>失礼します。保健体育科の報告をさせていただきます。</p> <p>保健体育科におきましては、子供たちに生きて働く力を付けさせることが大切であると考え、現代的な課題であるインターネットとの付き合い方や性教育、LGBTの扱いについても話題になりました。</p> <p>また、各発行者ともがん教育の学習を深める工夫がされていました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、見つける、学習課題を確認する、課題の解決、広げるという流れが提示され、授業の見通しが持ちやすくなっています。デジタルコンテンツには、薬物乱用体験者のインタビューがあります。LGBTについての手記も掲載され、課題を現実的に捉える工夫がされています。相談窓口が多数掲載されているのも特徴です。</p> <p>大日本図書は、各章・各単元の学習のねらいが明記されています。学びを活かそうでは、意見を記述式にまとめることができる工夫がされています。見つける、課題の解決、広げるという学習の流れが矢印によって示されています。SNSトラブルについて紹介があり、ミニ知識には二つの相談窓口が掲載されています。</p> <p>大修館は、ストレス対処と応急手当てについて、実習のページを設け、写真やイラストを参考にして確実な技能取得が図られています。スマートフォンについて、事例を用いて考えさせたり、思春期の悩みについて考えさせたりする工夫がされています。</p> <p>学研は、各章の扉では、小学校で学習したことや高校で学習する内容を表記しています。章末には、自己評価欄が設けられ、振り返り活動に生かされます。いじめや人間関係の悩みなどを相談できる相談窓口が多く紹介され、授業で活用できる工夫がされています。</p> <p>以上です。</p> |
| <p>重松教育長</p> | <p>ありがとうございます。</p> <p>今の説明につきまして、何か質問等ありましたら、よろしいですか。</p> <p>それでは、各委員の意見を聞かせていただきます。</p> <p>側垣委員、お願いします。</p> |
| <p>側垣教育委員</p> | <p>私は、東京書籍を選ばさせていただきます。</p> <p>その理由としましては、単元ごとにきちんとした四つのステップを踏んで分かり</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>やすく説明されているということと、今様々なところで話題になっているような薬物乱用であったり、LGBTの課題であったり、そういうことに対してコンテンツを利用して、子供たちが相談できるという対応をされています。そういう意味で、他社もすばらしい教科書ではあったのですが、東京書籍を選ばせていただきました。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。山本委員、お願いします。</p> |
| 山本教育委員 | <p>私は、結論から言いますと東京書籍です。 LGBTの記載については先ほど説明がありましたが、入っていないところも一つあったように思います。感染症の記載については、どことも8ページから10ページ、かなり力を入れて書いていました。東京書籍は、単元構成が少し他の会社と違います。2年の傷害の防止等を1学期に、3年の健康と環境も1学期に持ってきているので、心肺蘇生や熱中症をその時期にするという形で単元を組み替えています。そういう点の配慮があります。それから、学習コンテンツが東京書籍の場合は、全50中、動画が30あります。心肺蘇生の動画を見ると、大きさや角度など説明などが非常に見やすく丁寧に作っていると思い、東京書籍を選びました。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。藤原委員、お願いします。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>私からは、学研を推薦させていただきたいと思います。 各社さん、内容としては大変充実しているのですが、私が着目したのは、中学生がたちまち直面している問題として、喫煙の問題とストレス対処の問題というところに着目しました。喫煙の問題の項目を見たときに、さすがに20歳になるまではやめておきましょう、イコール20歳になったら吸ってもいいですよという視点で書かれた教科書はありませんでした。ただ、各社さんともっと現代社会においては、もう一生たばこには手を出してはいけないよという観点で書いてほしかったなと思います。学研さんが小学校教科書では、その点を強調していたのに、中学校になってその点を強調していないのは何故かなというのは率直に疑問に思いました。ただ、喫煙の害についてデータや数字をもとにきちんと自分への悪影響及び他者への悪影響、また世界的な禁止状況といった観点から説明している点で、大修館さんと学研が非常に優れていました。後の2社はデータや写真が</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>若干抽象的かなと思いました。</p> <p>もう1点、ストレスの解消法のところですが、これも先ほど指摘した大修館と学研が非常に充実していました。その中で学研さんは、ストレスを悪と捉えずに、適度な緊張感維持という点では必要という視点で書かれていた点、好印象でした。</p> <p>もう1点、LGBTの研究で学研がしっかり説明して、最も充実していたということがありました。</p> <p>災害のところでは阪神淡路大震災の研究があったかどうかという観点で考えたときに総合得点で学研さんかなと考えました。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございました。次に、長岡委員、お願いします。</p> |
| 長岡教育委員 | <p>私は、大修館さんです。</p> <p>学研さんと少し迷ったのですが、ここは、体育やスポーツというものを生涯にわたってどうやって関わっていくのかというようなところまでも、掘り下げて考えられるような、そういった書きぶりになっていたような気がします。他にはないアプローチの仕方をしてるところと、ただ、少し難易度が高いのかなというような気もしていますが、知識量や情報量が大変豊富で、これだけのことを中学校できちんと学んだら、恐らくスムーズに高校でも学習が進むのではないかなという思いで、専門的な書き方が非常に多く見られるので、大修館さんを推薦します。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。私の方からですが、体育面としては運動やスポーツの多様性、そしてその意義や効果さらには安全な行い方、さらには文化としてのスポーツの意義が的確に表現されているか。</p> <p>また、保健の面では、健康な生活や病気の予防など、自分の生活の中でこれらのことに気を付けて日常生活を送ることの大切さが実感できるかという観点。</p> <p>そして防災やLGBTに関する内容が適切に取り入れられているかということを見て、最終的に私は学研を推薦させていただきます。</p> <p>そうしますと、東京書籍と学研が2対2になりましたので、これはどれにするかというのをそれぞれ決めていただきたいのです。長岡委員には申し訳ない、どちらかということになりますので、このままいたら多分、長岡委員が決めること</p> |

| | |
|------------------------------|---|
| | <p>になるかと思いますが。それぞれ委員の方で順番にお願いしたいと思います。 そうしたら山本委員から、どちらか。</p> |
| 山本教育委員 | 東京書籍です。 |
| 藤原教育委員 | 学研です。 |
| 長岡教育委員 | 学研。 |
| 側垣教育委員 | 東京書籍です。 |
| 重松教育長 | <p>私は学研です。そうしたら学研が3になりましたので、学研で決定させていただきます。よろしくお願ひします。</p> <p>次に、技術家庭の教科用図書採択についての質疑を始めます。 まず、技術分野について選定委員会の説明をお願いいたします。 選定委員会委員長、よろしくお願ひします。</p> |
| 義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長 | <p>失礼します。技術家庭科の報告をさせていただきます。</p> <p>技術分野においても、家庭分野においても、子供たちに生きて働く力を付けさせることが大切であるという考えをもとに調査を行いました。持続可能な社会についても各発行者とも扱っていました。</p> <p>まず、技術分野の報告をさせていただきます。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、「技術のとびら」に科学的根拠に基づいた資料があり、他教科への関心を高める工夫がされていました。写真が多く制作イメージが持ちやすい工夫があります。グループでの体験的活動も紹介されています。</p> <p>教育図書は、手軽にできる実験例が多く掲載され、体験的活動につなげることができます。作業目線の写真が多く、生徒が作業の仕方などをイメージしやすくなっています。</p> <p>開隆堂は、各内容の始めに小学校や他教科との関連が示されており、教科間のつながりがイメージできるようになっています。また、安全、環境、防災のマークがあり、関連が一目で分かるようになっています。QRコードが多くあり、奇数ページの右下に配置されています。</p> <p>以上です。</p> |

| | |
|--------|---|
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>今の説明につきまして、何かご質問はありませんでしょうか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、これより各委員の説明をお願いしたいと思います。</p> <p>そうしたら、山本委員、お願いします。</p> |
| 山本教育委員 | <p>技術家庭については、実習等がたくさんありますから、作業工程や作業過程が分かりやすいかどうかということは、一つポイントになると思います。そういう点でいくと、開隆堂の方が先ほど説明にもありましたけれども、奇数ページの右下の方にコードがあつて、そこを見ると作業工程が非常に分かりやすくかかれています。</p> <p>あと一つ、プログラミングの扱いがどうかと見てみましたが、どこともかなり充実して扱っています。巻末で別途取り上げたり、別冊等で扱ったりしているものもありますが、どこも充実しています。作業工程の観点が決め手ということで、開隆堂にしました。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。そうしたら藤原委員、お願いします。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>私も結論としては、開隆堂さんを推薦したいと思います。</p> <p>技術家庭もそうなのですけれども、学校で習ったことが実生活で直接的に役に立つという、ある意味希有な科目と言えるのではないかと思います。そうしたときに、実生活のどういう場面で役立つのか、また、道具の使い方やその組み立て方という点でいかに実践的に書いてくださっているかという視点で考えたときに、開隆堂さん一番分かりやすいかなと感じました。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。そうしたら長岡委員、お願いします。</p> |
| 長岡教育委員 | <p>私も開隆堂さんです。</p> <p>制作イメージがもちやすいというような気がします。それから、他教科との関連性でもって開隆堂さんがいいかなと思います。</p> <p>以上です。</p> |

| | |
|------------------------------|--|
| 重松教育長 | ありがとうございます。側垣委員、お願いします。 |
| 側垣教育委員 | 私も開隆堂を推薦します。 やはりコンテンツが見やすいということと、分かりやすいということ、それから、小学校との関連の説明が十分にされているということで、開隆堂にさせていただきま |
| 重松教育長 | ありがとうございます。では、私の方から。従来からの物作りについての実践的、体験的な活動について、学んだことを実生活の中で生かすことができるような実習や観察、実験が有効に取り入れられているか。特に、情報の流通については、その歴史をたどりながら具体的な進歩の状況について、活用におけるリテラシーに課題や、コンピュータの基本的な構造などについて、一つ一つ丁寧に学ぶことができる構成になっているかを検討させていただきました。 私の方もそういう意味では、開隆堂が達せられているのではないかとということで、これを推薦させていただきます。 そうしたら、全員開隆堂ですので、開隆堂さんにしたいと思います。よろしくお願いします。 次に、家庭分野についての説明をよろしくお願ひしたいと思います。 垣内選定委員会委員長、お願いします。 |
| 義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長 | 失礼します。次に家庭分野の報告をさせていただきます。 各発行者の特徴ですが、東京書籍は、導入でこの編で学ぶことが示され、見直しをもって学習をすることができます。教科書の最後に、子供の視界体験の眼鏡が付けられ、体験的な活動ができる工夫があります。 教育図書は、デジタルコンテンツや関連ホームページを参照できるQRコードが多数掲載され、特に調理と食文化の章では、調理の方法が細かく動画で示されており、分かりやすくなっています。 開隆堂は、衣食住の編では、調理や布製品の制作方法が細かく動画で示されており、分かりやすくなっています。理科との関連が図られ、モノグリセリドの表記を統一しています。制服の自由選択について考えるページがあり、現代的課題について学ぶことができます。 以上です。 |

| | |
|--------|---|
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>今の説明につきまして、何かご意見ございませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それでは、各委員の方から説明をお願いします。</p> <p>藤原委員、よろしくお願いします。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>家庭分野について、私は結論としては、技術と同じく開隆堂を推薦したいと思います。</p> <p>理由は、至るところにあるのですけれども、家庭科という科目は、学校で習ったことが実生活でダイレクトに役に立つというところでもありますので、いかに実生活に直接的に役立つことを教えてくれているかという視点で、見ました。</p> <p>後、育児に関するページで、お父さんもお母さんも育児に関わっているという写真やイラストが充実しているかどうかという点においても、開隆堂さんが充実していました。イクメンという概念をきちんと説明しているというのもあります。</p> <p>後、消費者トラブルや、知的財産に関する法律の説明というところもあったのですが、これは各社さんとも書かれているのですが、細かい法律内容の説明よりは、なぜ問題が生じるのか、そして中学生がそれにどう対処すればいいのかという視点から書いた方が、中学生としては取り組みやすいのかなと思います。</p> <p>中学生の視点から、こうすべきだというところ、それを補完するものとして法律の内容の説明というのがあるといいのかな。というかそれぐらいで法律の説明としては、十分なのかなと考えます。その点において、開隆堂さんが一番組み立てとしては、しっかりしていらっしゃいました。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。次、長岡委員、お願いします。</p> |
| 長岡教育委員 | <p>私も開隆堂さんです。</p> <p>調理や制作について、その作業手順が分かりやすくきちんと記述がされているという点です。それからもう1点は、例外的な課題の選択について、考えさせるいろんな仕組みや、仕掛けがなされていると思います。</p> <p>以上です。</p> |

| | |
|--------|---|
| 重松教育長 | ありがとうございます。側垣委員、お願いします。 |
| 側垣教育委員 | 私も開隆堂を選びました。 その理由は、子育てに関する記述、先ほど藤原委員がおっしゃいましたけれども、やはり男女差別や夫婦分業という考え方ではなしに、子育てはみんなであるものだという事と、社会的な支援が可能だということで、珍しくフィンランドのネウボラのシステムを紹介しているような記述もありました。そういう意味ではそういうところに重点を置いているのかなと。 それから、子供の権利についてもやはり開隆堂さんの説明に大きなところがあつたと思います。 それからもう一つ、施設や里親さんの利用ということについても、開隆堂では触れておられました。それと、性の多様性やLGBTなど、共生社会についての考え方、それからその説明もありました。制服の自由選択など、今の新たな課題についても、多様な考え方を提供し、それについて子供たちが話し合えるような教科書作りをされているなと思いましたので、選びました。 |
| 重松教育長 | ありがとうございます。そうしたら山本委員、お願いします。 |
| 山本教育委員 | 結論から言うと開隆堂です。 作業工程などの分かりやすさということは、先ほどと同じなのですけれども、加えて先ほど側垣委員からもありましたように、多様性や、共生社会など、そういうことをどう考えているかということです。例えば、見開きのページにはそのことが、はっきりあらわれていると思いました。 あと一つは、生活の課題と実践の取り扱いというところで、開隆堂だけ具体例として出しています。後の2社は選択です。教師の裁量ということでいけば具体例の方が、望ましいのだろうということも考えて、開隆堂としました。 |
| 重松教育長 | ありがとうございます。では、私の方から。家庭科の場合生活に必要な知識や技術が実習教材や実践的な体験的な活動通して確実に習得できるようになっているのか。写真やいわゆる絵や、それからQRコードで確実に確認できるようになっているのかということを見せてもらいました。 また、料理や裁縫を行う場合に自分として考える場面や、学ぶ場面など必要以上の説明をするのではなく、自分として調べる、工夫する余地があるのかという構 |

| | |
|------------------------------|---|
| 義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長 | <p>成になっているのかということも、一緒に見せてもらいました。</p> <p>さらに問題解決に当たっては、自分一人で解決するのではなく、話し合う、実際にやってみるなどの体験を通して、課題解決ができる場面を設けているかなどの工夫の構成になっているかなどと共に、兵庫県の取り扱いも合わせて検討させていただきました。</p> <p>以上の観点から、私も開隆堂ということで、決定させていただきました。</p> <p>そうしたら、これも全員、開隆堂ですのでそのまま開隆堂ということで、決定させていただきます。</p> <p>次に、英語、外国語ですが、外国語につきまして、委員長の方、解説よろしくお願ひします。</p> <p>失礼します。外国語の報告をさせていただきます。</p> <p>外国語におきましては、小学校との連携や他教科との連携について、話題となりました。</p> <p>各発行者の特徴ですが、東京書籍は、資料の読み取りの力を育成するため、図や表などの情報を参考に文を読み取る教材を使用しています。小学校での既習単語が各パート、巻末で別に掲載されており、連携が図られています。</p> <p>開隆堂は、各プログラムに聞いたことをメモして、マッピングしたり、そのメモに基づいてインタビューをしたりするタスクが組み込まれています。道徳で行うような小発問が多くあり、場面を想像し、思考を深める工夫があります。</p> <p>三省堂は、小学校英語とつながる内容がとても充実しています。文学作品、自然科学、環境問題、人権問題など様々な題材が多いのも特徴です。QRコードの横には、textなどの表記があり、音声データの内容が確認しやすくなっています。</p> <p>教育出版は、活動のメモやwritingなど、直接教科書に書き込むことができます。Think&Try!では、会話の最後に自由にやり取りを加える指示があり、即興性を身に付ける工夫があります。カードを使った自己紹介活動やペアでの応答など、やり取りができるよう質問や応答例が掲載されています。</p> <p>光村図書は、長文読解に対応できる教材が多く掲載されています。場面設定や目的を明瞭にして、自らの考えをまとめ、言語活動をする課題が多く設定されています。</p> <p>啓林館は、登場する国や地域が幅広く、各国の文化や伝統を学ぶことができる構成になっています。発表するだけでなく、聞き手から質問に答えるタスクが組み込まれ、高校へのつながりが意識されています。</p> |
|------------------------------|---|

| | |
|--------|--|
| 重松教育長 | <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>今の説明につきまして、ご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、各委員からこれも6社ありますので、2社お願いしたいと思います。</p> <p>長岡委員からお願いします。</p> |
| 長岡教育委員 | <p>三省堂さんと光村さんです。</p> <p>1点目は、登場キャラクターの人種が多様であるというところです。それから、特に三省堂さんなのですけれども、学習内容の特徴、それから語源の多さからそういったところとも関連しているのかもしれないですけれども、それが人種の多様性のところです。</p> <p>それから、学習の内容で言うと、即興でやり取りをする練習をさせていく。こういった力を伸ばしていくというところが、ほかの出版社さんには、余りないところで、この2社さんを推薦したいと思います。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。側垣委員、お願いします。</p> |
| 側垣教育委員 | <p>私は、三省堂と啓林館です。</p> <p>三省堂については、今、長岡委員がおっしゃったような観点とやはり英語というのはコミュニケーション能力で教科書を持ちながら英会話やコミュニケーションをするわけではないので、その場、その場に合った力をどう付け、対応能力をどう付けていくかということについては、やはり三省堂さんの教科書が面白いなと思いました。</p> <p>それから啓林館につきましては、他社と大きな違いはないのですが、やはり幅広い国々の素材を扱っているなど。英語圏だけではない他の国との関係性についても、学習できるのではないかなという思いで啓林館を選びました。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。そうしたら山本委員、お願いします。</p> |
| 山本教育委員 | <p>私は、三省堂と東京書籍です。</p> |

| | |
|--------|--|
| | <p>三省堂は、プロジェクトが面白いと思います。プロジェクトに関してはほかの会社も書かれていますが、プロジェクトというほどの大きさになっていないところもありました。そういう点で、三省堂のプロジェクトは、面白いと思いました。それから、先ほどから言われている即興性を求める対話というのもいいですね。東京書籍は、ユニットゼロがおもしろいと思います。各社とも小学校との連携を出していますが、あえて単元を設定して、ユニットゼロという形での取り組みをしているのはここだけです。</p> <p>そういう点で、二つです。以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。では、藤原委員、お願いします。</p> |
| 藤原教育委員 | <p>私の方から推薦したいのは、三省堂さんと光村図書さんになります。</p> <p>視点は幾つかありまして、いわゆる英語4技能をバランスよく配置できているかという点において、三省堂です。目についたのは、話す、書くという視点で考えたときにスピーチライティングというのを一つの課題として挙げているというところ。そのときに、日本的に起承転結を誘導させるよりは、結論から文章を書かせると。英語的発想というものに基づいて書かれているという点が目に付きました。</p> <p>他の委員の先生も指摘されていらっしゃいましたが、人種的多様性と、教材の地域的な多様性という点も着目しました。その点において三省堂さんと光村さんが優れているなと思いました。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。私の方から。小学校との接続を考えたときに、校種間の接続がスムーズになっているかということ、最初に見せてもらいました。さらに、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことのうち話すことについては、やり取りと発表という、4技能の5領域になっていますので、その分学びの工夫が見られるか。その中で学びのプロセスが習得から活用へと展開されて、言語活動を通してコミュニケーションを行う場面や、状況に応じて対応する力が英語の力を付ける配慮がなされているかといった題材の工夫があるかということも検討させてもらいました。</p> <p>その結果として、私は三省堂と開隆堂という形でさせていただきます。</p> <p>この結果、三省堂は全員ですので、三省堂が決定ということでよろしくお願いし</p> |

| | |
|---------------------------------------|---|
| <p>義務教育諸学校 教科用図書選定 委員会委員長</p> | <p>ます。</p> <p>次に、特別の教科道徳の教科用図書の採択についての審議をさせていただきます。選定委員会の説明を、委員長の説明、よろしくお願いいたします。</p> <p>失礼します。特別の教科道徳の報告をさせていただきます。</p> <p>各者それぞれに考え、議論することを通して、道徳性を育むことができる。また、考えを深めるための工夫がされていました。現代的な諸課題についての教材も扱われており、防災、情報、人権、福祉、環境などに関する内容も含まれています。いじめについての教材は、全ての学年で取り扱われていました。</p> <p>全ての発行者に掲載のある教材は、「足袋の季節」、「二通の手紙」でした。</p> <p>東京書籍は、教材を大きくりのテーマで整理し、複数教材を関連付けて学ぶ構成になっています。段階的に学習が進められるよう、「考えて見よう！」のコーナーが設けられています。巻末に自己評価用紙が付いており、毎時間の振り返りだけでなく、学期ごとの振り返りもできます。ホワイトボード用の用紙や心情円が付録にあり、これらを利用して意見交流ができます。</p> <p>教育出版は、冒頭に意識付けの導入発問を提示しています。教材を通して、考えるための視点を「学びの道しるべ」で示しています。切り離して提出可能な「道徳の学びを振り返ろう」が利用できます。「やってみよう」が設定され、役割演技を通して学習を深めることができます。</p> <p>光村図書は、教材のテーマや目当てが「考えよう」で、提示されています。考えを広げるための「見方を変えて」、自分自身につなげるための「つなげよう」を設けています。「深めたいむ」が設定され、ワークシート形式で自分や周りの意見をもとに考えを深める工夫がされています。</p> <p>日本文教出版は、よりねらいに迫れるよう、「考えてみよう」で発問が提示されています。また、学びを自分自身につなげる発問の例として、「自分に+1」が示されています。別冊道徳ノートがあり、毎時間の記録や学期ごとの振り返りができるようになっています。</p> <p>学研は、関心を高めるため、冒頭に教材のキーワードを示しています。学習内容に則した問いと、実生活に置きかえて自分自身を見つめ直すことができる問いが一つずつ設定されています。巻末には学期ごとの振り返りができるワークシートが掲載されています。教材の前に主題名を示さないことで、生徒自らの気づきや考えを促す工夫があります。</p> <p>廣済堂あかつきは、学びを進める手がかりとして、「考える・話し合う」を示して</p> |
|---------------------------------------|---|

| | |
|--------|---|
| | <p>います。本冊と別冊により自分を振り返る学びができます。各教材の最後に、偉人のことばが添えられているのも特徴です。</p> <p>日本教科書は、内容項目に沿った教材の配列です。考えを促すための、考え、話し合ってみよう、そして深めようのコーナーで話し合いができる問いがあります。学習内容を深めるためのコラムや参考資料が適宜配置されています。実際に教材で取り上げている内容についてのデータは、兵庫県教育委員会の調査研究資料や各教科書の編集趣意書にありますので、そちらも参考してください。</p> <p>以上です。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。</p> <p>今の特別の教科道徳につきまして、何か質問ありましたら。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>そうしたら、各委員の説明をよろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>そうしたら、側垣委員からお願ひします。</p> |
| 側垣教育委員 | <p>この選考が一番難しいなと思って悩みましたが、私は、光村と学研を推薦したいと思ひます。</p> <p>光村図書の方は、小学校の道徳の教科書として今、採用されております。その教科書との継続性というか、それともう一つは、実感や共生などをテーマにした題材が多いか少ないかというか、そういう方向性を向いているかどうかということ、私は光村がいいなど。</p> <p>もう一つ、学研の方は、先ほどの解説にもありましたように、それぞれのテーマが主題を誘導しないというか、子供自身が自分自身で考えながら、その課題を見つけていく、あるいはその他の子供たちと話し合いながら自分たちで、何が重要なのかということを見つけていくような構成に、教科書の構成になっているなど思ひましたので、この二つを推薦させていただきます。</p> |
| 重松教育長 | <p>ありがとうございます。そうしたら山本委員、お願ひします。</p> |
| 山本教育委員 | <p>結論から言うと、学研みらいと教育出版です。</p> <p>今回の道徳のポイントというのは、教師の答えを探る道徳ではなくて、子供が考え、議論するような道徳をしていこうということです。そうすると内容項目が、教科書等の見えるところにあると、その方向を子供が感じて発言してしまう可能</p> |

| | |
|----------------------------|---|
| <p>重松教育長</p> | <p>性が高くなる。実際そういう道徳をしてきたわけです。その道徳を変えようということが今回の主張ですから、シンプルな方がいいと思います。</p> <p>それから別冊ノートをつけているところもありますが、これは、学習の形を指定しているわけです。議論して書きましようという形に入ってしまう。そういうものをできるだけ省いて考えたときに、学研みらいと教育出版となりました。</p> |
| <p>藤原教育委員</p> | <p>ありがとうございます。藤原委員、お願いします。</p> <p>私から推薦させていただきたいのは、学研と教育出版の2社になります。</p> <p>先ほど山本委員、ご指摘のところと似ているのですけれども、各単元のタイトルの横にテーマを書いているか否かというところがあります。これは、テーマを書くことをよいものと捉えるのか、そうではないものと捉えられるのかとなると思うのですが、国語のところでもご指摘しましたとおり、端的に文章に入って、文章に触れてもらうということが中学生にとっては重要なのかなと考えます。ですので、いちいちそのテーマを挙げて誘導するのではなくて、端的に内容に入るところが大事なのかなと思います。</p> <p>もう1点、別冊ノートがあること、これも評価が分かれるところだと思いますけれども、私としてはない方が授業の裁量の幅を広げるという意味ではいいのかなと考えます。</p> <p>後、兵庫県に関する記述というものが充実しているか否かという点において、量的に学研さんと教育出版さんが多かったのでこの2社、推薦させていただきます。</p> |
| <p>重松教育長</p> <p>長岡教育委員</p> | <p>ありがとうございます。そうしたら長岡委員、お願いします。</p> <p>私は、学研さんと光村さんです。</p> <p>先生方のご意見と同様なのですけれども、やはり余り誘導するような記述は、ここではない方がいいような気がしていて、子供自身に考えさせる余地をきちんと残しておくというような教科書がいいのではないかという点と、それから、他者をきちんと認めつつ、自分自身にもきちんと自信をもって生活をしていくのだというようにところも書かれている。人を認めて、自分も自信をもって生きるというようにところが、2社さんはよく強調されているのではないかと思います。</p> <p>以上です。</p> |

| | |
|-----------------------------|---|
| <p>重松教育長</p> | <p>ありがとうございます。では、私の方から。各社とも大きな変更がなかったように思います。ただ、考え、議論する道徳に照準を合わせるような改革がかなりなされていると思います。また、いじめや情報モラルについての話し合いなどで、さらに学びを深める工夫が見られるところがたくさんあります。そんな中で、教材の取り扱いを通して、しっかり話し合い、考え、きちんと結論が導き出され、それが日ごろの生活の中で、行動として実践できるものであってほしいという観点から検討させていただきました。そのためには一方的に教えるのではなくて、どうすればよいのかを考える手だてとなるような教科書であってほしいという観点から、学研と光村を推薦させていただきます。</p> <p>最終的には、全員学研が入っていますので、後は2と3ということですので、学研で決定させていただきます。よろしくをお願いします。</p> <p>では、最後にその他の教科用図書採択についての審議をしたいと思います。選定委員会の説明をお願いいたします。</p> <p>垣内選定委員会委員長、よろしくをお願いします。</p> |
| <p>義務教育諸学校教科用図書選定委員会委員長</p> | <p>失礼します。まず小学校、義務教育学校前期課程教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の定めるところにより、昨年度採択した教科用図書を採択することとなっております。各教科の採択教科書の一覧は、資料のとおりです。</p> <p>よろしくをお願いします。</p> <p>次に、特別支援学級用の児童生徒の教科書については、検定教科書や文部科学省による著作本、いわゆる星印本を採用することをまず検討し、これらを使用することが難しい場合には、検定教科書などに代わる教科の主たる教材として、絵本などの一般図書を採用してもよいこととなっております。</p> <p>ここからは、この一般図書の報告をさせていただきます。</p> <p>特別支援学級用の一般図書の調査報告につきましては、報告書の27ページから34ページに記載しています。</p> <p>西宮市では、平成23年度より文部科学省及び兵庫県教育委員会が示す一般図書のリストをもとに、西宮版のリストを作成し、教育委員会に採択をしていただいています。</p> <p>本年度の調査研究では、昨年度作成したリストをもとに、特別支援学級に在籍する個々の子供を想定し、教科、学年、障害種別における適正を判断して、新たに1冊を追加しました。このうち、西宮版のリストの27ページから31ページに</p> |

掲載しているのは、文部科学省発行の一般図書一覧に掲載されている347冊の図書の中から採用していることとなります。

32ページに掲載されている31冊は、文部科学省発行の一般図書一覧には掲載されておりませんが、調査研究をもとに西宮版のリストに掲載しているものです。33ページをご覧ください。

こちらに昨年度のリストから削除した図書と追加した図書をまとめております。削除する理由については、令和3年度使用一般図書から削除されることが決定されており、発行予定がないためです。

次に、その下の表に記載しているリストに追加する1冊の図書について、説明いたします。表の一番左の番号、No.123のくらしに役立つ理科については、小学校で学ぶ内容が図と共に分かりやすく示されており、職業科受検を目指す生徒にとって、ふさわしいということ。また既に、同じシリーズの国語、数学、社会がリストにあることが、追加する図書に挙げた理由です。

同じく報告書33ページの下の段をご覧ください。

これまで、既に西宮版のリストに掲載されていた一般図書の中にもほかの教科書や他学年、ほかの障害種別でも使用可能なものがあります。この点についても、調査研究を進めました。具体的には、兵庫県教育委員会による調査研究資料を参考にしながら、各図書の内容を確認した結果、8点の図書について、教科や学年、障害種別を変更いたしました。それが33ページの下段に記載している図書です。具体的には、図書を吟味していく中で、分かりやすく、丁寧な内容のものについては、下学年についても対象を広げることといたしました。

また、内容の程度や分かりやすさから、知的障害の児童生徒にも対象を広げた図書もあります。

さらに、他教科にも使用できるものはないか確認したところ、例えばNo.30の「幼児絵本シリーズ やさいのおなか」は、野菜の断面が大きく表示され、デッサンやスケッチの学習にも適しているという観点から、生活以外にも理科や図画工作、美術の図書として使用できると判断いたしました。

各学校で、特別支援学級の個々の児童生徒が使用する一般図書を定める際は、担任を中心として、管理職、保護者、特別支援教育課が連携を図り、検討を重ねて西宮版のリストの中から、個々の子供の状況にあった最も適切な教科用図書を選ぶこととなります。

特別支援学級用一般図書の調査報告については、以上でございます。

ご審議よろしく申し上げます。

| | |
|-------|--|
| 重松教育長 | <p>説明が終わりました。</p> <p>これより質疑、討論に入ります。</p> <p>小学校、義務教育学校前期課程教科用図書、それから特別支援学級用一般図書について、今、説明がありましたが、ご意見、ご質問はありませんか。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>それで、選定委員会からの報告のとおり、採択したいと思います。</p> <p>ご異議はございませんか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ご異議は認めませんので、報告のとおり採択いたします。</p> <p>以上で、議案第25号「令和3年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の件」の審議を終了いたします。</p> <p>以上で予定されていた議題は全て終わりました。</p> <p>では、これをもちまして、第1回教育委員会臨時会を閉会いたします。</p> <p>誠にありがとうございました。</p> <p>(終了)</p> |
|-------|--|